H5 Handy Recorder

オペレーション マニュアル

安全上の注意／使用上の注意

安全上の注意

このオペレーションマニュアルでは、誤った取り扱いによる事故を未然に防ぐための注意事項を、マークを付けて表示しています。マークの意味は次のとおりです。

警告	「死亡や重症を負うおそれがある内容」です。
注意	「傷害を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容」です。

図記号の例

!	「実行しなければならない（強制）内容」です。
⃠	「してはいけない（禁止）内容」です。

⚠警告

AC アダプターによる駆動

- AC アダプターは、必ず ZOOM AD-17 を使用する。
- コンセントや配線器具の定格を超える使い方や AC100V 以外では使用しない。

  AC100V と異なる電源電圧の地域（たとえば国外）で使用する場合は、必ず ZOOM 製品取り扱い店に相談して適切な AC アダプターを使用する。

電池による駆動

- 市販の 1.5V 単三電池（アルカリ乾電池または、ニッケル水素蓄電池）× 2 を使用する。
- 電池の注意表示をよく見て使用する。
- 使用するときは、必ず電池カバーを閉める。

改造について

- ケースの開封や改造を加えない。

⚠注意

製品の取り扱いについて

- 落としたり、ぶつけたり、無理な力を加えない。
- 異物や液体を入れないように注意する。

使用環境について

- 温度が極端に高いところや低いところでは使わない。
- 暖房機やコンロなど熱源の近くでは使わない。
- 湿度が極端に高いところや水滴のかかるところでは使わない。
- 振動の多いところでは使わない。
- 砂やほこりの多いところでは使わない。

AC アダプターの取り扱いについて

- 電源プラグをコンセントから抜くときは、必ずプラグを持って抜く。
- 長期間使用しないときや雷がなっているときは、電源プラグをコンセントから抜く。

電池の取り扱いについて

- 電池の＋、－極を正しく装着する。
- 指定の電池を使う。
  新しい電池と古い電池、銘柄や種類の違う電池を同時に使用しない。
- 長期間使用しないときは、電池を取り外す。
  液漏れが発生したときは、電池ケース内や電池端子に付いた液をよく拭き取ること。

マイクについて

- マイクを接続するときは、電源スイッチを必ず OFF にしてから接続し、無理な力を加えない。

接続ケーブルと入出力ジャックについて

- ケーブルを接続するときは、各機器の電源スイッチを必ず OFF にしてから接続する。
- 移動するときは、必ずすべての接続ケーブルと AC アダプターを抜いてから移動する。

音量について

- 大音量で長時間使用しない。

使用上の注意

他の電気機器への影響について

H5 は、安全性を考慮して本体からの電波放出および外部からの電波干渉を極力抑えております。しかし、電波干渉を非常に受けやすい機器や極端に強い電波を放出する機器の周囲に設置すると影響が出る場合があります。そのような場合は、H5と影響する機器とを十分に距離を置いて設置してください。
デジタル制御の電子機器では、H5も含めて、電波障害による誤動作やデータの破損、消失など思わぬ事故が発生しかねません。注意してください。

お手入れについて

パネルが汚れたときは、柔らかい布で乾拭きしてください。それでも汚れが落ちない場合は、湿らせた布をよくしぼって拭いてください。
クレンザー、ワックスおよびアルコール、ベンジン、シンナーなどの溶剤は絶対に使用しないでください。

故障について

故障したり異常が発生した場合は、すぐに AC アダプターを抜いて電源を切り、他の接続ケーブル類もはずしてください。「製品の型番」「製造番号」「故障、異常の具体的な症状」「お客様のお名前、ご住所、お電話番号」をお買い上げの販売店またはズームサービスまで連絡してください。

著作権について

◎ Windows® / Windows® 8 / Windows® 7 / Windows Vista® は Microsoft® 社の商標または登録商標です。
◎ Macintosh 、Mac OS 、iPad は、Apple Inc. の商標または登録商標です。
◎ SD ロゴ、SDHC ロゴは商標です。
MPEG Layer-3 オーディオ圧縮技術は、FraunhoferIIS 社と Sisvel 社よりライセンスを得ています。
◎文中のその他の製品名、登録商標、会社名は、それぞれの会社に帰属します。

＊文中のすべての商標および登録商標は、それらの識別のみを目的として記載されており、各所有者の著作権を侵害する意図はありません。

他の者が著作権を保有する CD、レコード、テープ、実演、映像作品、放送などから録音する場合、私的使用の場合を除き、権利者に無断での使用は法律で禁止されています。
著作権法違反に対する処置に関して、（株）ズームは一切の責任を負いません。

この装置は、クラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。 取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。
VCCI-B

はじめに

このたびは、ZOOM H5ハンディレコーダー（以下“H5”と呼びます）をお買い上げいただきまして、ありがとうございます。
H5は、次のような特長を備えた製品です。

●場面に応じて交換可能なステレオマイク

狙った音を奥行きのある音像で録音できる XY マイクが付属。一眼レフカメラのレンズのように、場面に応じてマイクを取り替えることができます。

●最大 4 トラックの同時録音

交換可能なステレオマイク（L/R 入力）の他に、本体に 2 つの TRS/XLR 入力（インプット 1/2）を装備。
環境音とナレーション、全体音響と複数の役者の音声など、一度に最大 4 トラックまでの録音が可能です。

●進化した録音性能

- XY マイクにはショックマウント機構を採用し、外部からの振動ノイズを低減します。また最大入力音圧が 140dBspl と、従来のレコーダーでは収音し切れなかった大きな音に対しても余裕の耐音圧性を持ち、分離の良いステレオ録音が可能です。
- L/R 入力では、通常の録音と同時に－12dB の録音レベルで別ファイルにバックアップ録音が可能。想定外の大音量で通常録音が歪んだ場合も差し替えることができます。
- すべてのインプットボリューム（入力ゲイン）は回転ボリュームにより手動で素早く調節できます。

●充実した基本性能

- 記録メディアは SDHC カード（最大 32GB）に対応しています。
- 出力端子は、通常のヘッドフォン出力に加え、ラインアウトも搭載。ビデオカメラ等に音声信号を送りながらのモニターも可能です。
- USB 接続ではカードリーダーとして、また従来の 2 IN / 2 OUT に加え、4 IN / 2 OUT（Windows はドライバが必要）のオーディオインターフェースとしても利用可能です。
- チューナーやメトロノーム、再生速度・ピッチの変更など、従来の H シリーズに搭載されていた便利な機能も、もちろん搭載。リモコン（有線）も使用できます。

H5の機能を十分に理解し、末永くご愛用頂くために、このマニュアルをよく読んでください。
また、一通り読み終わった後も、このマニュアルは保証書とともに保管してください。

目　次

各部の名称

【左側面】

【前面】

XYマイク

インプット
ボリュームL/R

ディスプレイ

インプット
ボリューム1

インプット
ボリューム2

トラックキー
(L、R、1、2)、
インジケーター

[PLAY/PAUSE]キー

[REC]キー、
インジケーター

[STOP]キー

[REW]キー

[FF]キー

H5
Handy Recorder

ZOOM

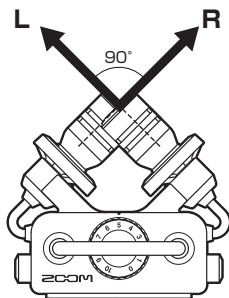
各部の名称のつづき

【右側面／背面】
[MIC/LINE]
入力端子
（プラグインパワー対応）
[リモコン]端子
スクロールキー
上下：
メニュー項目の選択
押す：
メニュー項目の決定
スピーカー（背面）
[MENU]キー
押す：
メニューの表示、
前の画面に戻る
SDカードスロット
電池カバー（背面）
REMOTE
MENU
【底面】
インプット1
インプット2
ストラップ取り付け穴
XLR
2
1
3
1：GND
2：HOT
3：COLD
TRS
TIP：HOT
RING：COLD
SLEEVE：GND

マイクについて

H5 に付属している XY マイクは、目的に応じて他のマイクアタッチメントに付け替えることができます。

XY マイク

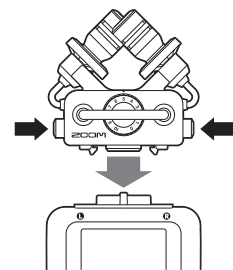
指向性マイクを交差させて配置したマイクです。

特長：

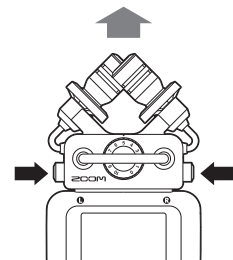
ショックマウント機構を採用し、外部からの振動ノイズを低減します。
また、最大入力音圧が 140dBspl と、従来のレコーダーでは収音し切れなかった大きな音に対しても余裕の耐音圧性を持ったマイクです。
自然な奥行きと広がりをもった立体的なサウンドが特長です。

NOTE

XY マイクには、外部マイクやライン機器を接続できる［MIC/LINE］入力端子が用意されています。プラグインパワー対応のマイクに電源を供給することもできます。（→ P.97）

マイクの取り付け

1. マイクの横にあるボタンを押しながら本体に取り付け、奥まで押し込む

マイクの取り外し

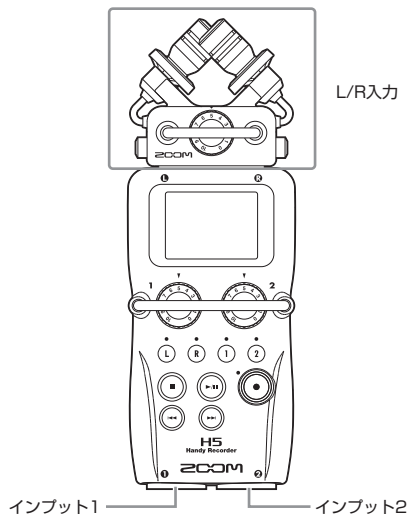
1. マイクの横にあるボタンを押しながら本体から引き抜く

NOTE

・取り外すときは無理な力を加えないでください。マイクおよび本体が破損する恐れがあります。
・録音中にマイクを取り外すと、録音が終了します。

インプット 1/2 にマイクなどを接続する

H5 は、XY マイクからの入力（L/R 入力）の他に、インプット 1/2 からの入力も備えており、合わせて一度に最大 4 トラックの録音が可能です。
インプット 1/2 にはマイクや楽器などを接続することができます。

マイクの接続

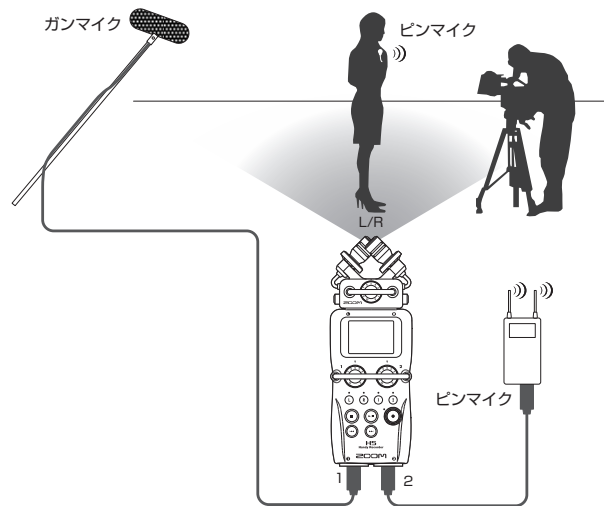
ダイナミックマイク、コンデンサーマイクを接続する場合は、XLR プラグをインプット 1/2 に接続します。
コンデンサーマイクにはファンタム電源（+12V/+24V/+48V）を供給することもできます。（→ P.96）

楽器などの接続

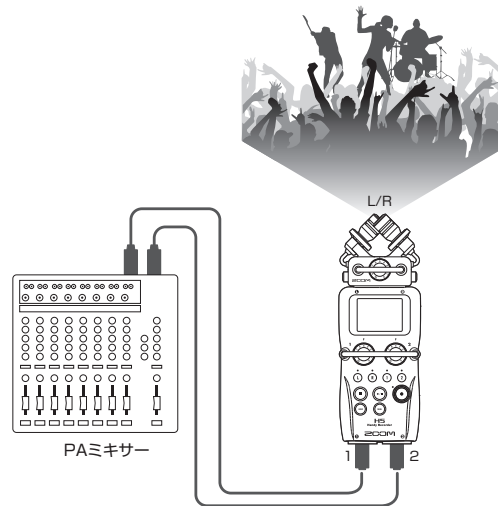
キーボードやミキサーを接続する場合は、TRS プラグをインプット 1/2 に接続します。
パッシブタイプのギターやベースの入力には対応していません。この場合は、ミキサーやエフェクターを通して接続してください。
出力基準レベルが +4dB のミキサーなどには、「PAD」機能を ON にすることで対応できます。（→ P.98）

接続の例

場面に応じて、例えば次のような録音が可能です。

動画撮影の場合

・L/R 入力のマイク…メインの対象の音声。
・インプット 1/2 に接続されたガンマイクやピンマイク…出演者の音声。

コンサート録音の場合

・L/R 入力のマイク…ステージの演奏。
・インプット 1/2…ミキサーからのライン出力。

ディスプレイ表示

ホーム&録音画面

【MULTI FILE モード】

【STEREO FILE モード】

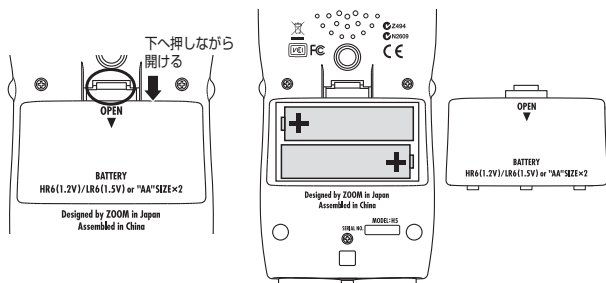
再生画面

【MULTI FILE モード】

【STEREO FILE モード】

電源のセット

電池を使用する

1. 電源を OFF にしてから、電池カバーを開ける

2. 電池を取り付ける

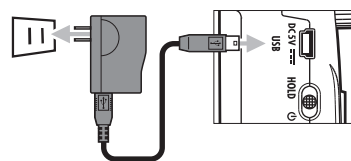
3. 電池カバーを閉じる

NOTE

- ・アルカリ乾電池またはニッケル水素蓄電池を使ってください。
- ・電池マークが 0 になったときは、すぐに電源を OFF にし、新しい電池と交換してください。
- ・使用する電池の種類を選択する（→ P.17）

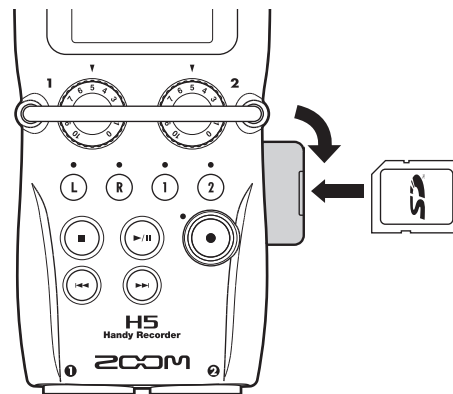
AC アダプターを使用する

1. USB 端子にケーブルを接続する

2. コンセントに接続する

SD カードのセット

1. 電源を OFF にしてから、SD カードスロットカバーを開ける

2. カードスロットに SD カードを差し込む

取り出したいとき：
SD カードを一度スロットの奥に押し込んでから、引き抜く。

NOTE

- SD カードを抜き差しするときは、必ず電源を OFF にしてください。
  電源が ON のままで行うと、データを破損させる恐れがあります。
- SD カードを抜き差しするときは、カードの向きや裏表に注意してください。
- SD カードが入っていないときは、録音や再生はできません。
- SD カードを初期化するには （→ P.106）

電源の ON/OFF

電源 ON

1. HOLD をⓘ側にスライドする

NOTE

・ご購入後、はじめて電源を ON にした場合は、日付／時刻（→ P.16）の設定を行う必要があります。
・「No SD Card!」と表示されたら、SD カードが正しくセットされているか確認してください。
・「Card Protected!」と表示されたら、SD カードに書き換え保護がかけられています。ロックスイッチをスライドさせてライトプロテクトを解除してください。
・「Invalid SD Card!」と表示されたら、フォーマットが不正です。初期化するか、別のカードを使用してください。SD カードを初期化するには（→ P.106）

電源 OFF

1. HOLD をⓘ側にスライドする

NOTE

「Goodbye See You!」が表示されるまでスライドし続けてください。

ホールド機能について

録音中の誤操作を防ぐため、H5はボタン操作を無効にするホールド機能を搭載しています。

ホールドを有効にする

1. HOLD をHOLD 側にスライドする

NOTE
ホールド機能有効時でも、リモコンでの操作は可能です。

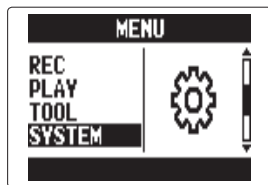
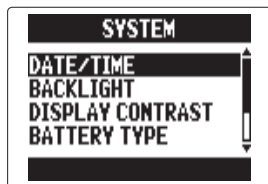
ホールドを解除する

1. HOLD を中央に戻す

日付／時刻のセット★

日時を設定しておくことで、ファイルに録音日時を記録することができます。

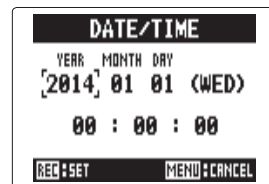
1. を押す

2. で「SYSTEM」を選択して、を押す

3. で「DATE/TIME」を選択して、を押す

4. 設定する

■ 設定時の操作

カーソル移動：　の上下

変更する項目の選択：　を押してから、の上下

変更した項目の確定：　を押す

5. を押す

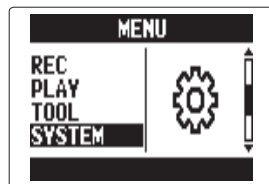
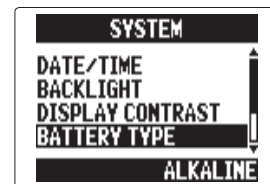
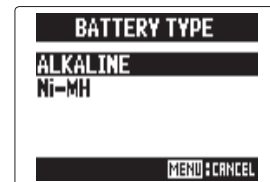
日時が設定されます。

★：ご購入後、初めて電源を ON にした場合は、日付／時刻の設定を行う必要があります。

使用する電池の種類を選択する

電池残量を正確に表示するために、電池の種類を設定しておきます。

1. を押す

2. で「SYSTEM」を選択して、を押す

3. で「BATTERY TYPE」を選択して、を押す

4. で種類を選択して、を押す

録音の流れ

次のような流れで録音を行います。

H5 の MULTI FILE モードでは、録音・再生するデータをプロジェクトと呼ばれる単位で扱います。STEREO FILE モードではファイル単位で扱います。

1. 録音モードを設定する(→P.20)

・MULTI FILE モードと STEREO FILE モードのどちらかを選択します。選択したモードによって、録音フォーマットや録音ファイルの種類が異なります。
・オート録音 (→P.27)、プリ録音 (→P.29)、バックアップ録音(→P.32)、低域カット(→P.93)、コンプ／リミッター(→P.94)、メトロノーム(→P.80)などの設定もできます。

2.　録音するトラックを選択する(→P.22)

・トラックキーで選択します。選択されているトラックのインジケーターが赤く点灯し、入力される音声をモニターできるようになります。
・MULTI FILE モードでは、インプット 1/2 両方のトラックキーを同時に押して、ステレオトラックにする(ステレオリンク)こともできます。

3.　入力レベルを調節する

・各入力の　で調節します。
・一番大きな音がレベルメーターの－12dB 付近になるように調節します。
・サイドマイクレベルの調節 (MS 方式のアタッチメントの場合)(→P.31)などもできます。

録音モードについて

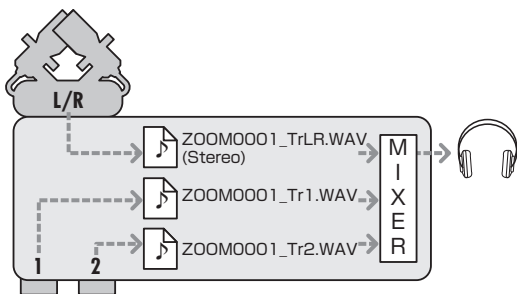
H5 には MULTI FILE モードと STEREO FILE モードの 2 つの録音モードがあります。
それぞれの設定により、録音結果のファイルの種類や、録音フォーマットが異なります。

MULTI FILE モード

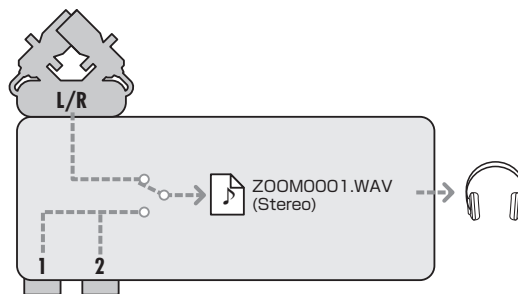
XY マイクなどの L/R 入力はトラック L/R へ録音、インプット 1/2 からの入力はトラック 1/2 へ録音され、それぞれ別のファイルに記録します。
各入力からの信号を個別のファイルに記録するため、録音後にそれぞれの再生音量や定位などを変更することができます。
MULTI FILE モードで選択できる録音フォーマットは 44.1/48kHz 16/24bit の WAV フォーマットのみです。

HINT

インプット 1/2 は、ステレオリンクを設定して 1 つのステレオファイルとして扱うこともできます。この場合、作成されるファイルは L/R 入力のステレオファイルとインプット 1/2 のステレオファイルの 2 つになります。

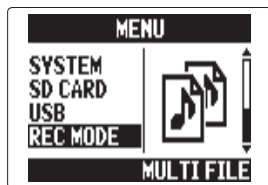
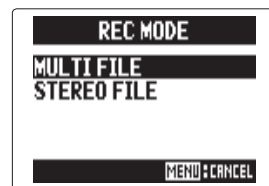
L/R
ZOOM0001_TrLR.WAV
(Stereo)
ZOOM0001_Tr1.WAV
ZOOM0001_Tr2.WAV
MIXER
1
2

※44.1/48kHz 16/24bitのWAV 録音限定

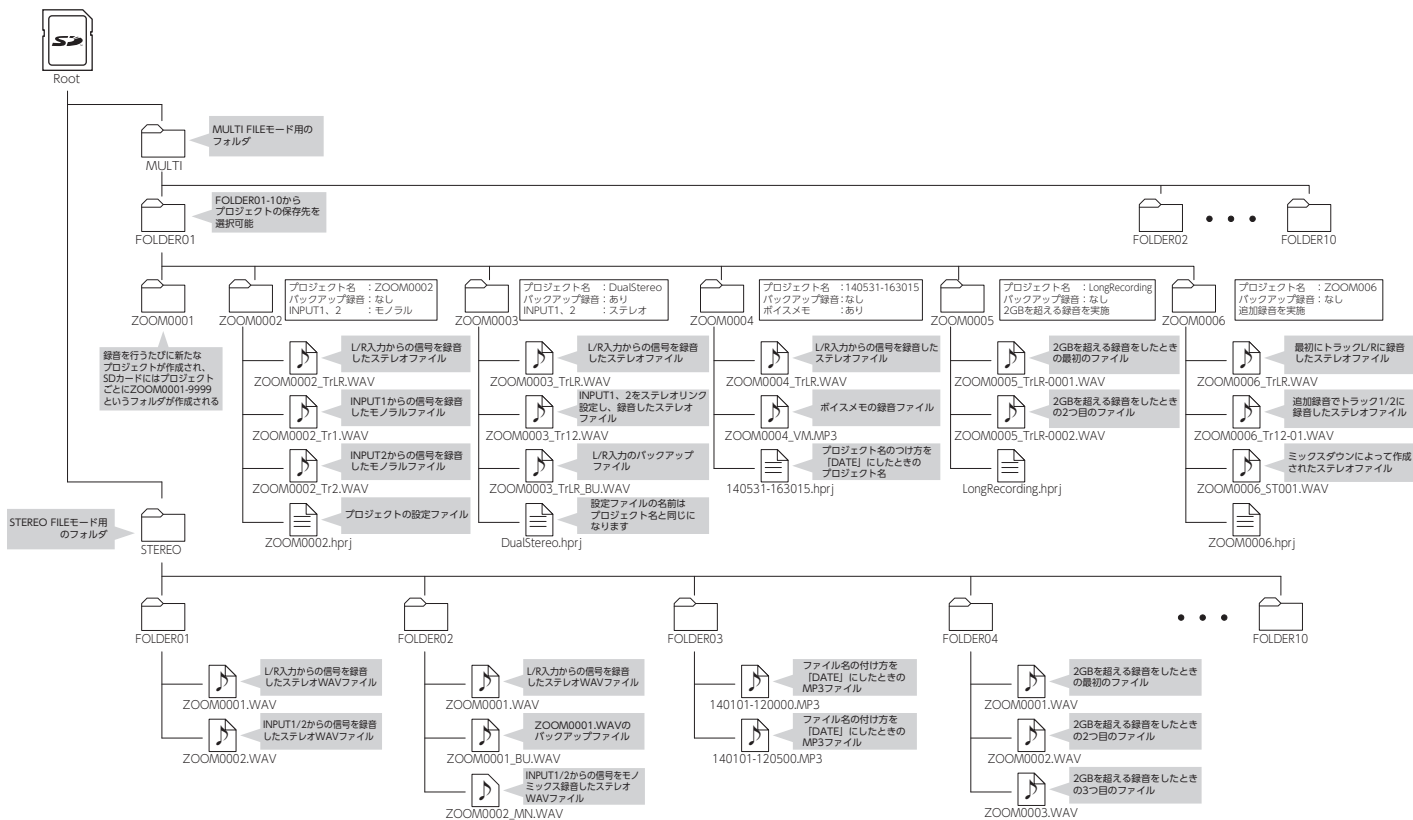
STEREO FILE モード

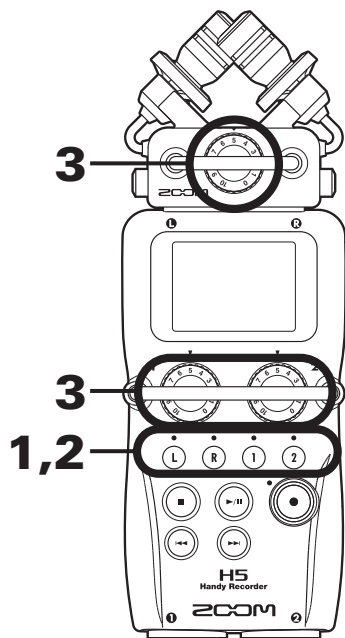
XY マイクなどの L/R 入力、またはインプット 1/2 からの入力を、ステレオファイルに記録します。
記録できるのは 2 トラックまでですが、目的に応じて録音フォーマットを自由に選択することが可能（→ P.89）です。
音質を重視する場合、あるいはファイルサイズを小さくしたい場合などにはこのモードを使用します。

※96kHz 16/24bit WAV、MP3 録音可能

録音モードを選択する

1. MENUを押す

2. で「REC MODE」を選択して、を押す

3. で録音モードを選択して、を押す

H5のフォルダ・ファイル構成

H5 で録音すると、SD カードに次のようなフォルダ・ファイルが作成されます。

入力を選択する・レベルを調節する

使用する入力を、L/R 入力、インプット 1/2 の中から選択できます。
MULTI FILE モードの場合、L/R 入力はトラック L/R、インプット 1/2 はトラック 1 、2 に録音されます。

1. 録音したいトラックのトラックキーを押す

HINT

選択されたトラックキーはインジケーターが赤く点灯し、入力されている音声をヘッドフォン出力／ラインアウトからモニターできるようになります。

NOTE

- STEREO FILE モードでは、トラックキーのⓁまたはⓇを押すと L/R 入力を、トラックキーの①または②を押すとインプット 1/2 を選択できます。
- STEREO FILE モードでは、L/R 入力とインプット 1/2 を同時に選択したり、片方のトラックだけを選択解除することはできません。

STEREO FILE モードの場合は、手順 3 へ進みます。

2. MULTI FILE モードでインプット 1/2 をステレオとして扱う場合は、トラックキーの①を押しながら②を押す

解除する場合は、もう一度トラックキーの①を押しながら②を押します。

HINT

コンボタイプのアタッチメントを L/R 入力に接続している場合には、同じようにトラックキーのⓁを押しながらⓇを押すとステレオの設定・解除が行えます。

NOTE

録音モードが MULTI FILE モードの場合

・選択されたトラックごとに次のようなファイルが作成されます。

録音したトラック	ファイル名	内容
L/R 入力	ZOOMnnnn_TrLR.WAV	ステレオファイル
インプット 1	ZOOMnnnn_Tr1.WAV	モノラルファイル
インプット 2	ZOOMnnnn_Tr2.WAV	モノラルファイル
インプット 1/2（ステレオ設定）	ZOOMnnnn_Tr12.WAV	ステレオファイル

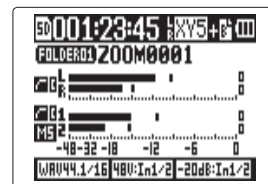
※ファイル名の「nnnn」はプロジェクト番号

・MULTI FILE モードでは、1 度の録音で作成されるこれらのファイルをプロジェクト単位で管理します。

録音モードが STEREO FILE モードの場合

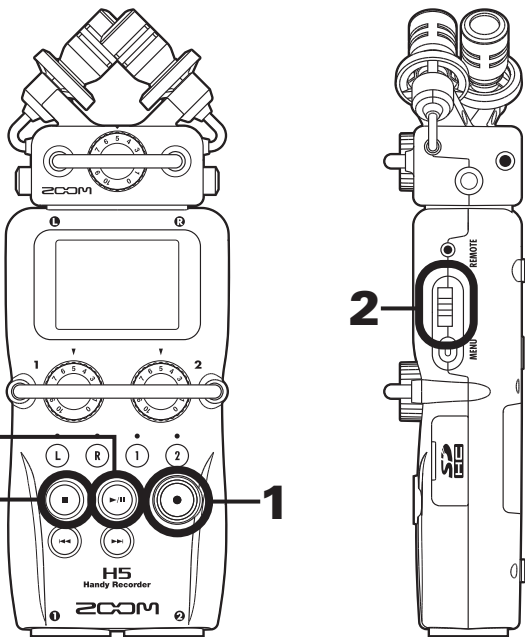
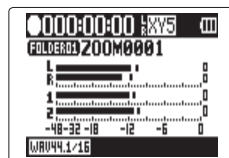
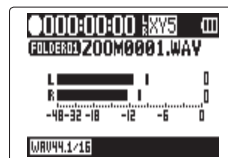
・選択された入力は次のようなファイルに記録されます。
ZOOMnnnn.WAV/ZOOMnnnn.MP3（ステレオファイル）
※ファイル名の「nnnn」はファイル番号

・STEREO FILE モードではファイル単位で管理します。

3. 選択したトラックに対応する を回して入力レベルを調節する

MULTI FILE モード

HINT

・ピークレベルがー 12dB 付近で維持されるように調節します。
・入力レベルを下げても音が歪む場合、マイクの位置を調節したり、接続機器の出力レベルを調節します。
・COMP/LIMITER を使用したいときは（→ P.94）
・風雑音などのノイズをカットしながら録音するには（→ P.93）

録音する

1. (●) を押す

MULTI FILE モード

STEREO FILE モード

録音が始まります。

2. 再生時の目印になるマークをつけるには →[ ]↕ を押す

HINT

再生時に、(⏮) (⏭) を押してマークをつけた場所に移動することができます。

NOTE

マークを付けられるのは、WAV フォーマットのみです。

3. 一時停止するには (►/II) を押す

NOTE

· 一時停止を行ったときは、停止位置にマークがつきます。
· 再開するには、(►/II) を押します。

4. 停止するには ⊡ を押す

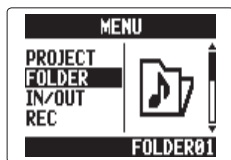
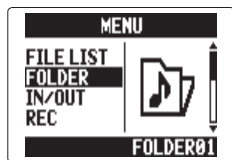
NOTE

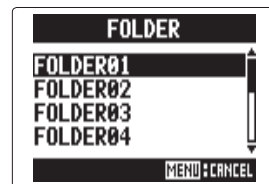
・マークは、MULTI FILE モードの場合 1 プロジェクトに最大 99 個、STEREO FILE モードの場合 1 ファイルに最大 99 個までつけられます。
・MULTI FILE モードの場合、録音中にファイルサイズが２GB を超えたときは、新しいファイルが同一プロジェクト内で自動的に作成され、録音は継続されます。このときファイル名の末尾に -0001（最初のファイル）、-0002（２番目のファイル）のように番号が付加されます。
・STEREO FILE モードの場合、録音中にファイルサイズが２GB を超えたときは、新しいファイルが同一フォルダ内で自動的に作成され、録音は継続されます。

プロジェクト／ファイルの保存先フォルダを選択する

録音したプロジェクト（MULTI FILE モードの場合）／ファイル（STEREO FILE モードの場合）を保存するフォルダを 10 フォルダから選択します。

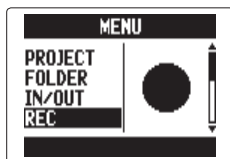
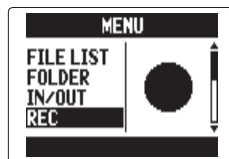
1. を押す

2. で「FOLDER」を選択して、を押す

MULTI FILE モード

STEREO FILE モード

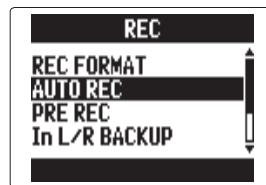
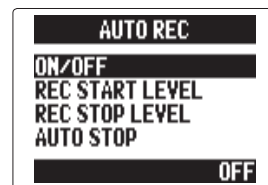
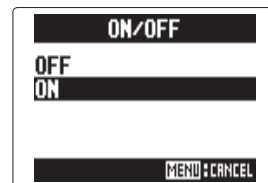
3. で保存したいフォルダを選択して、を押す

自動で録音する

入力レベルに応じて、自動的に録音を開始／終了することができます。

1. を押す

2. で「REC」を選択して、を押す

MULTI FILE モード

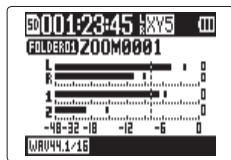
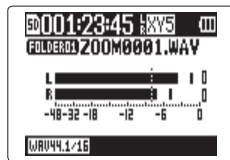
STEREO FILE モード

3. で「AUTO REC」を選択して、を押す

4. で「ON/OFF」を選択して、を押す

5. で「ON」を選択して、を押す

NOTE
自動録音機能の詳細を設定するには（→ P.90）

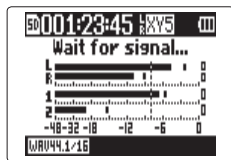
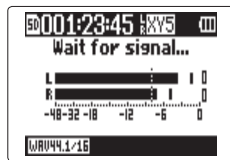
NEXT >>>

自動で録音するのつづき

6. ホーム画面に戻る

自動録音の開始レベル位置に点線が表示されます。

MULTI FILE モード

STEREO FILE モード

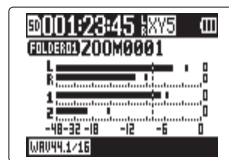
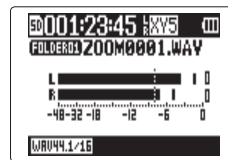
7. ⊙を押す

待機状態になります。

MULTI FILE モード

STEREO FILE モード

HINT

設定したレベル（レベルメーター上に表示されます）以上の入力があると、自動的に録音を開始します。設定したレベル以下の入力になると自動的に録音を終了する機能を使用することもできます。（→ P.91）

8. 待機状態から抜けたいときや録音を中止したいときは

■を押す

MULTI FILE モード

STEREO FILE モード

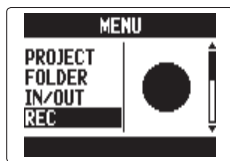
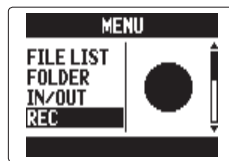
NOTE

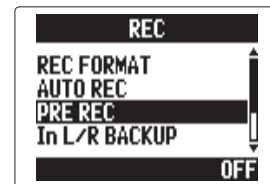
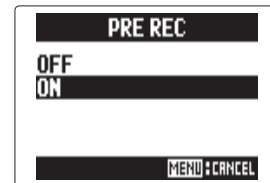
PRE REC、METRONOME、PRE COUNT 機能との併用はできません。AUTO REC を ON にした場合、これらの機能は無効となります。

時間をさかのぼって録音する

入力信号を常に一定時間蓄えておくことにより、 を押す 2 秒前から、録音を開始することができます。突然演奏が始まったときなどに便利です。

1. を押す

2. で「REC」を選択して、 を押す

MULTI FILE モード

STEREO FILE モード

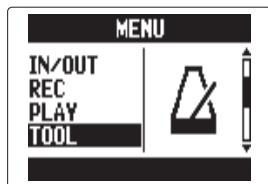
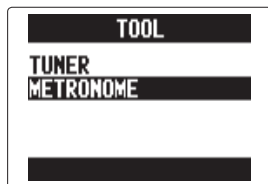
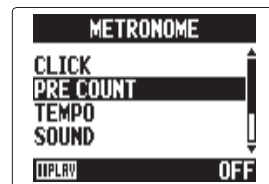
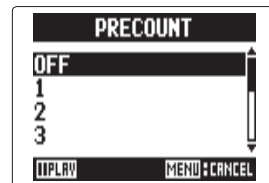
3. で「PRE REC」を選択して、 を押す

4. で「ON」を選択して、 を押す

NOTE

AUTO REC、PRE COUNT、METRONOME 機能との併用はできません。これらの機能を ON にした場合、PRE REC は無効となります。

録音開始前にカウントする

録音を開始する前にカウントを鳴らすことができます。

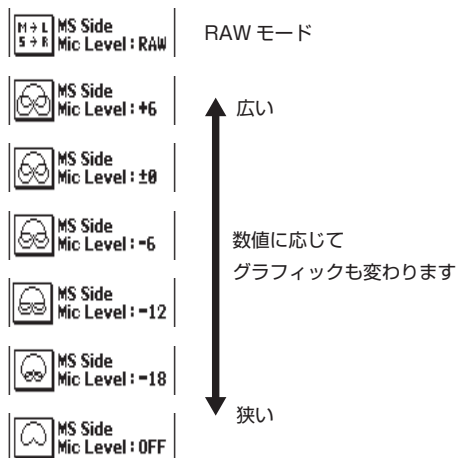
1. を押す

2. で「TOOL」を選択して、を押す

3. で「METRONOME」を選択して、を押す

4. で「PRE COUNT」を選択して、を押す

5. でカウント回数を選択して、を押す

NOTE

- AUTO REC 機能との併用はできません。AUTO REC を ON にした場合、PRE COUNT は無効となります。
- PRE REC 機能との併用はできません。PRE COUNT を ON にした場合、PRE REC は無効となります。
- カウント回数は 1 ～ 8 および SPECIAL を選択できます。
- SPECIAL では次のカウントが再生されます。

サイドマイクレベルを調節する MS 方式のアタッチメントのみ

サイドマイクレベル（ステレオ幅）が調節可能な MS 方式のアタッチメントなどを使用する場合、録音前にサイドマイクレベルを調節できます。

1. でサイドマイクレベルを調節する

NOTE

- OFF、－ 24 ～＋ 6dB、MS-RAW モードに設定できます。
- MS-RAW モードで録音すると、再生中に を上下に操作することによって、サイドマイクレベルを調節することができます。ただし、通常のステレオファイルとは異なるフォーマットのため、他の機器で使用するためには、ZOOM「MS Decoder」などのステレオに変換するソフトウェアが必要になる場合があります。
- MS-RAW モードは録音フォーマットが WAV のときのみ選択できます。

バックアップ録音する L/R 入力のみ ※ WAV44.1/48kHz フォーマットのみ対応

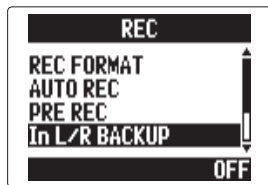
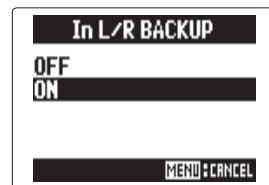
L/R 入力では、通常の録音に加えて、設定した入力レベルから 12dB 低い録音レベルで別ファイルにバックアップ録音することができます。録音レベルが高すぎて歪んでしまったときなどに、差し替えることができます。

1. MENU を押す

2. で「REC」を選択して、を押す

MULTI FILE モード

STEREO FILE モード

3. で「In L/R BACKUP」を選択して、を押す

4. で「ON」を選択して、を押す

NOTE

- バックアップファイルのファイル名は、例えば元のファイルが「ZOOM0001_TrLR.wav」の場合「ZOOM0001_TrLR_BU.wav」になります。
- L/R 入力が選択されていない場合、バックアップファイルは作成されません。
- バックアップ録音には LO CUT や COMP/LIMITER 設定は反映されません。
- バックアップ録音ファイルを再生するには「_BU」の付加されたファイルを選択して再生してください。
（MULTI FILE モードの場合→ P.35 手順 12、
STEREO FILE モードの場合→ P.40）

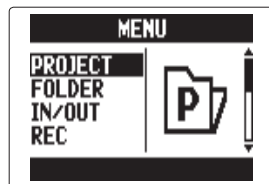
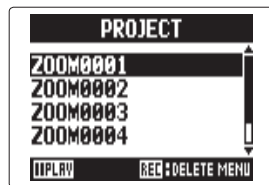
HINT

バックアップ録音を行うと、SD カードの使用量が増加します。

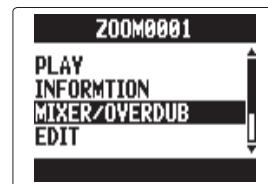
追加録音する MULTI FILE モードのみ ※ WAV44.1/48kHz フォーマットのみ対応

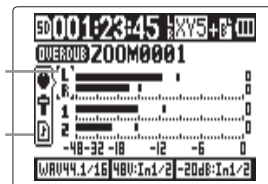
すでに録音済みのプロジェクトに対して、後から録音を追加することができます。

1. MENU を押す

2. で「PROJECT」を選択して、を押す

3. で追加録音するプロジェクトを選択して、を押す

HINT

追加録音が可能なプロジェクトは、MULTI FILE モードで録音したものに限ります。

4. で「MIXER/OVERDUB」を選択して、を押す

5. で「MIXER/OVERDUB」を選択して、を押す

録音済みのトラックキーはインジケーターが緑色に点灯し、録音していないトラックキーのインジケーターは消灯します。

NEXT >>>

追加録音する MULTI FILE モードのみ のつづき

6. 追加録音するトラックのトラックキーを押して、インジケーターを赤く点灯させる

追加録音するトラックの入力信号がモニターできるようになります。

HINT

インプット 1/2 のステレオリンクを変更することも可能です。(→ P.22)

7. を回して入力レベルを調節する

8. 録音済みトラックを再生しながら追加録音する場合は、そのトラックキーを押して、インジケーターを緑色に点灯させる

HINT

- インジケーターは赤→緑→消灯の順に変化します。
- この状態で を押すと、ここで選択したトラックの音声を再生しながら、手順 6 で選択したトラックの入力信号をモニターできます。リハーサルや入力レベルの確認に便利です。
- 再生中のトラックの音量やパンを調節することもできます。

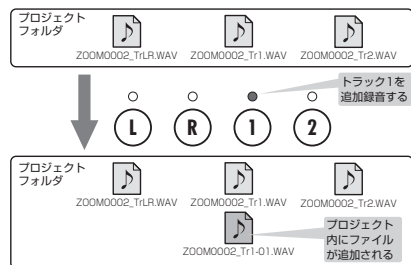
9. を押す

手順 6 で選択したトラックの追加録音が開始されます。

NOTE

- 追加録音では、AUTO REC、PRE REC 機能は使用できません。
- MIXER/OVERDUB 画面では、プロジェクトに設定された PLAYBACK SPEED や KEY CONTROL の設定は無効になります。

HINT

追加録音するトラックがすでに録音済みの場合、元のファイルは上書きされずに新たなファイルが追加され、そのファイルがトラックに割り当てられます。追加録音したファイル名には 2 桁のテイク番号がトラック名の後に付加され、「ZOOM0001_TrLR-01.WAV」のようになります。
録音終了後、どのファイルをトラックに割り当てるかを選択することも可能です。

10. 停止するには ■ を押す

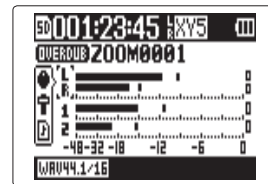
手順 6 で選択したトラックの追加録音設定が解除され、インジケーターが緑色に点灯します。

11. 録音結果を確認するには ►/■ を押す

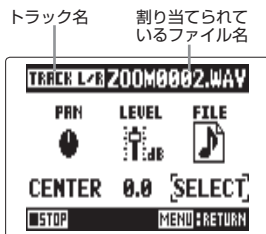
インジケーターが緑色に点灯しているトラックの音声が再生されます。

HINT

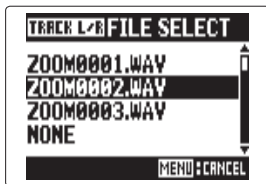
MIX DOWN 機能を使用することにより、追加録音した結果をステレオファイルにまとめることができます。(→ P.54)

12. トラックに割り当てる録音ファイルを変更する場合は、↕ でトラックを選択し、→ を押す

NEXT >>>

追加録音する MULTI FILE モードのみ のつづき

13. [ボタン]で FILE を選択し、[ボタン]を押す

14. [ボタン]でファイルを選択し、[ボタン]を押す

同じプロジェクトフォルダ内にある WAV データの中から、トラックに割り当てたいデータを選択します。

[MENU]を押すと、ファイルの変更を中止します。

NOTE

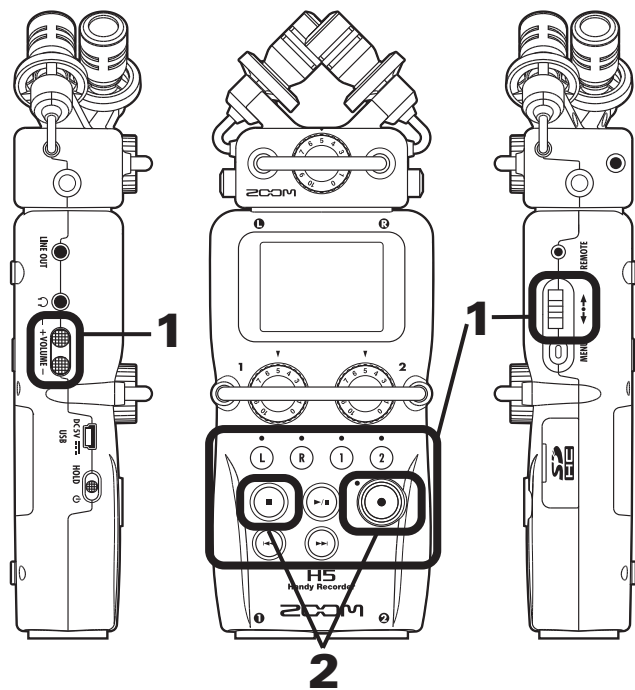
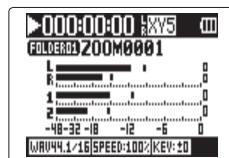
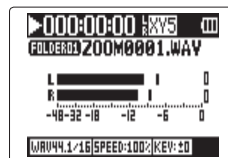
- 選択したトラックがステレオの場合はステレオファイルのみ、モノラルの場合モノラルファイルのみを割り当てることができます。
- MS RAW で録音されたファイルをトラック 1/2 に割り当てることはできません。

HINT

- 「NONE」を選択することで、トラックからファイルの割り当てを外すことも可能です。
- ここでミックスダウンしたデータ（→ P.54）を選択して、そのデータを再生しながら新たに別トラックに追加録音することで、多重録音の繰り返しが可能です。

15. 追加録音を終了するには[MENU]を押す

追加録音後にプロジェクトを再生・編集する場合には、この時点で各トラックに割り当てている音声ファイルが使用されます。

再生する

1. ⏯ を押す

MULTI FILE モード

STEREO FILE モード

■再生時の操作

再生プロジェクト／ファイルの選択、マーク位置の頭出し：	⏮ ⏭ を押す
早送り／早戻し：	⏮ ⏭ を長押し
一時停止／再生再開：	⏯ を押す
サイドマイクレベルの変更：（MS-RAW モードのみ）	↕ の上下

HINT

・⏮ ⏭ を長押しする時間が長いほど、早送り／早戻しのスピードも早くなります。
・MULTI FILE モードでは、再生中にトラックキーを押すと再生（緑点灯）、ミュート（消灯）を切り替えることができます。
・選択したプロジェクト／ファイルが不正の場合、「Invalid Project!」または「Invalid File!」のメッセージが表示されます。
・再生可能なプロジェクト／ファイルが 1 つもない場合、「No Project!」または「No File!」のメッセージが表示されます。

■再生中にマークをつける

マークをつけたい場所で

→ を押す

HINT
マークは最大で 99 個までつけることができます。

NOTE
マークを付けられるのは、WAV フォーマットのみです。

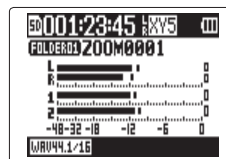
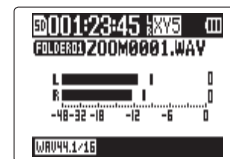
■再生中に音量を調節する

+VOLUME – を押す

スピーカー

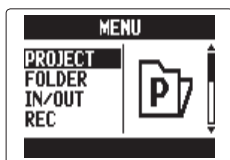
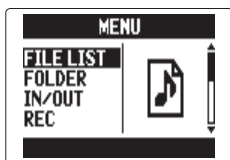
ヘッドフォン

HINT
スピーカーとヘッドフォンの音量を別々に調節することができます。 0 ～ 100 の範囲で調節できます。

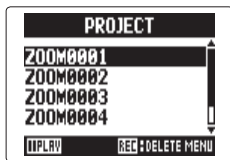
2. ホーム画面に戻るには または を押す

MULTI FILE モード

STEREO FILE モード

再生したいプロジェクト／ファイルをリストから選択する

1. MENU を押す

2. で「PROJECT/FILE LIST」を選択して、を押す

MULTI FILE モード

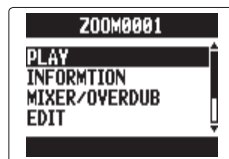
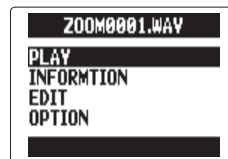
STEREO FILE モード

3. で再生したいプロジェクト／ファイルを選択して、を押す

MULTI FILE モード

STEREO FILE モード

HINT

を押すことで選択したプロジェクト / ファイルを再生することができます。

4. で「PLAY」を選択して、を押す

MULTI FILE モード

STEREO FILE モード

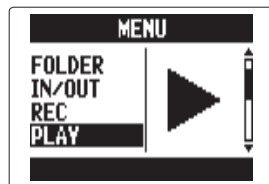
選択したプロジェクト／ファイルが再生されます。

NOTE

再生後は、再生モードの設定（→ P.41）に従って再生を続けます。

再生モードを変更する

再生方法を変更できます。

1. MENU を押す

2. で「PLAY」を選択して、を押す

3. で「PLAY MODE」を選択して、を押す

4. で再生モードを選択して、を押す

NOTE

PLAY ONE（1 曲再生）:
選択した 1 プロジェクト／ファイルのみを再生します。

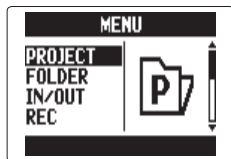
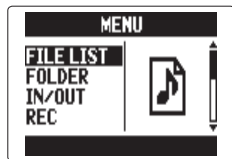
PLAY ALL（全曲再生）:
選択したプロジェクト／ファイルから最後のプロジェクト／ファイルまでを再生します。

REPEAT ONE（1 曲リピート再生）:
選択した 1 プロジェクト／ファイルのみを繰り返し再生します。

REPEAT ALL（全曲リピート再生）:
選択中のフォルダ内のすべてのプロジェクト／ファイルを繰り返し再生します。

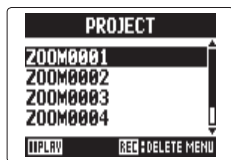
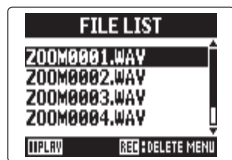
再生ピッチを変更する［キー］

再生速度を維持しながら、ピッチを変更できます。

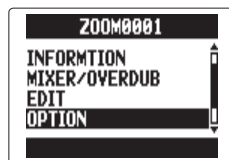
1. MENUを押す

2. で「PROJECT/FILE LIST」を選択して、を押す

MULTI FILE モード

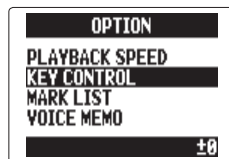
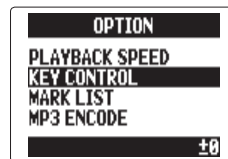
STEREO FILE モード

3. で変更するプロジェクト／ファイルを選択して、を押す

MULTI FILE モード

STEREO FILE モード

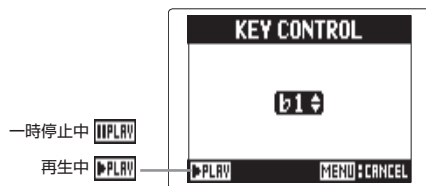
4. で「OPTION」を選択して、を押す

MULTI FILE モード

STEREO FILE モード

5. で「KEY CONTROL」を選択して、を押す

MULTI FILE モード

STEREO FILE モード

NOTE

MULTI FILE モードでは、ピッチの変更はプロジェクト全体に反映されます。トラックごとの設定はできません。

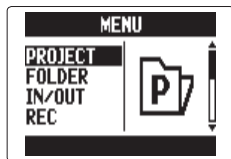
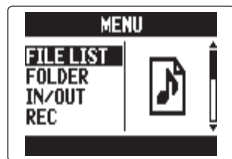
6. で再生ピッチを選択して、を押す

変更したピッチで再生されます。再生中にピッチを変更することも可能です。

NOTE

- ♭６～♯６の間で変更できます。
- MULTI FILE モードの場合、変更した値はプロジェクト単位で保存されます。
- STEREO FILE モードの場合、モード共通の設定として保存されます。
- MIXER/OVERDUB 画面では、KEY CONTROL は無効です。

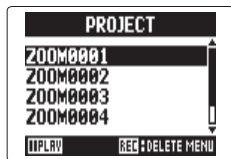
再生速度を変更する

1/2 倍（50%）～ 1.5 倍（150%）の間で再生速度を変更できます。

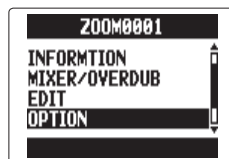
1. MENU を押す

2. で「PROJECT/FILE LIST」を選択して、を押す

MULTI FILE モード

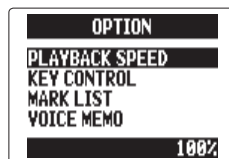
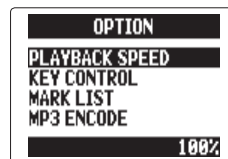
STEREO FILE モード

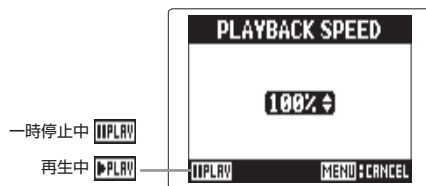
3. で変更するプロジェクト／ファイルを選択して、を押す

MULTI FILE モード

STEREO FILE モード

4. で「OPTION」を選択して、を押す

MULTI FILE モード

STEREO FILE モード

5. で「PLAYBACK SPEED」を選択して、を押す

MULTI FILE モード

STEREO FILE モード

6. で再生速度を調節して、 を押す

変更した速度で再生されます。再生中に速度を変更することも可能です。

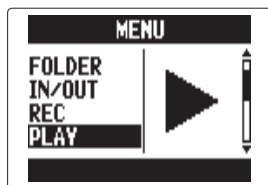
NOTE

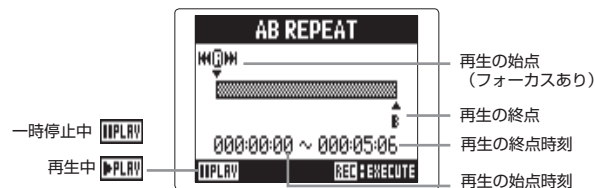
- 50%～ 150%の間で変更できます。
- MULTI FILE モードの場合、変更した値はプロジェクト単位で保存されます。
- STEREO FILE モードの場合、モード共通の設定として保存されます。
- MIXER/OVERDUB 画面では、PLAYBACK SPEED は無効です。

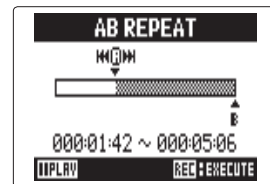
任意の範囲を繰り返し再生する［A-B リピート］

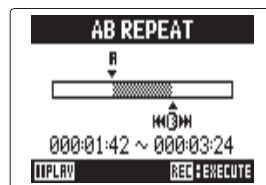
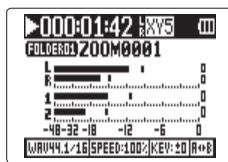
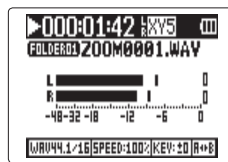
設定した 2 点間を繰り返し再生できます。

1. を押す

2. で「PLAY」を選択して、を押す

3. で「AB REPEAT」を選択して、を押す

4. で A ポイントのアイコンを選択する

5. でリピート再生の始点の位置を探す

を押して、再生しながら探すこともできます。

6. [icon] でBポイントのアイコンを選択して、リピート再生の終点も設定する

7. [icon] を押す

MULTI FILE モード

STEREO FILE モード

再生画面が表示され、設定範囲のリピート再生が始まります。

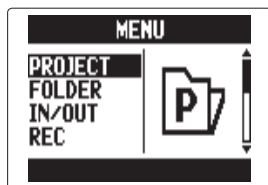
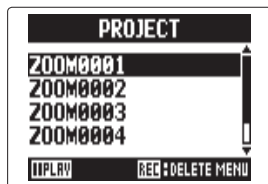
NOTE

・繰り返し再生中に以下の操作を行うとA-Bリピートは解除されます。
　－[icon] [icon] で他のプロジェクト／ファイルを選択する
　－再生を停止する
　－[icon] を押す

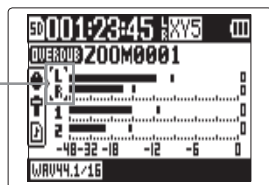
プロジェクトのミキシングをする MULTI FILE モードのみ

再生時の各トラックの音量・定位を変更できます。

1. MENU を押す

2. で「PROJECT」を選択して、を押す

3. でミキシングするプロジェクトを選択して、を押す

4. で「MIXER/OVERDUB」を選択して、を押す

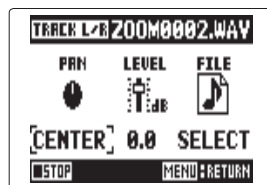
5. で「MIXER/OVERDUB」を選択して、を押す

6. で調節するトラックを選択して、を押す

7. 各パラメーターの設定値を変更する

■変更時の操作

カーソル移動、設定値の変更： の上下

変更するパラメーターの選択： を押す

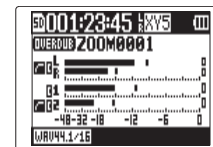
パラメーター	設定範囲	説明
PAN	L100～CENTER～R100	左右の音のバランスを調節します。
LEVEL	ミュート、－48.0～+12dB	音量を調節します。

NOTE

設定したミキシングはプロジェクトごとに保存され、再生時に適用されます。

HINT

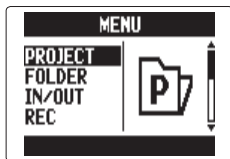
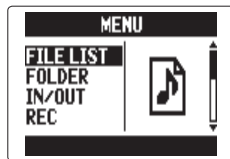
LO CUT、COMP/LIMITER、MS STEREO MATRIXの設定を、以下の操作で確認できます。

トラックＬまたはL/R選択中 ....

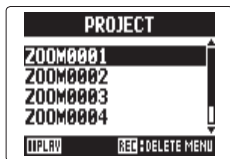
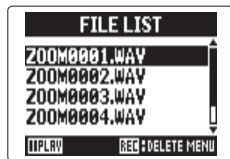
トラック２または1/2選択中 ....

プロジェクト／ファイルの情報を確認する

選択したプロジェクトの各種情報を確認できます。

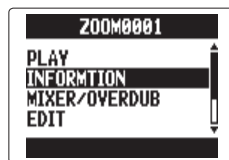
1. MENU を押す

2. ↕ で「PROJECT/FILE LIST」を選択して、→ を押す

MULTI FILE モード

STEREO FILE モード

3. ↕ で情報を確認するプロジェクト／ファイルを選択して、→ を押す

MULTI FILE モード

STEREO FILE モード

4. ↕ で「INFORMATION」を選択して、→ を押す

MULTI FILE モード

STEREO FILE モード

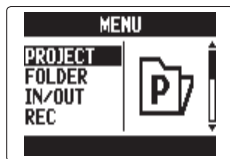
プロジェクト情報が表示されます。
隠れている部分の情報を見たいときは、↕ でスクロールしてください。

表示項目	説明
NAME	プロジェクト名 (MULTI FILE モードのみ)
PATH	プロジェクト／ファイルが保存されている場所
DATE	プロジェクト／ファイル作成日時（Y/M/D H:M:S）
FORMAT	録音フォーマット
SIZE	プロジェクト／ファイル全体のサイズ
TIME	プロジェクト／ファイルの時間（HHH:MM:SS） 最大は 999:59:59 です。
MS MIC	MS サイドレベルまたは RAW を表示 MS 方式のアタッチメント未使用時には「－」を表示します。
FILES	トラック・ファイルの情報を表示

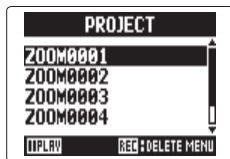
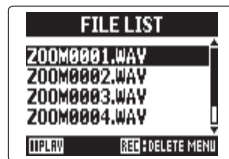
トラックマークを確認する WAV フォーマットのみ

録音したプロジェクト／ファイルのマークを一覧表示できます。

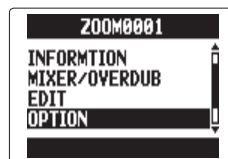
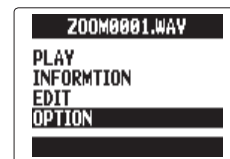
1. を押す

2. で「PROJECT/FILE LIST」を選択して、を押す

MULTI FILE モード

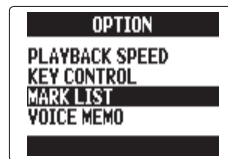
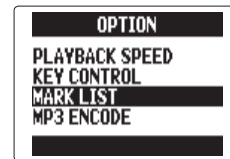
STEREO FILE モード

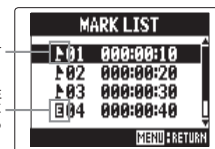
3. でトラックマークを確認するプロジェクト／ファイルを選択して、を押す

MULTI FILE モード

STEREO FILE モード

4. で「OPTION」を選択して、を押す

MULTI FILE モード

STEREO FILE モード

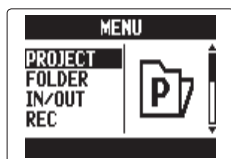
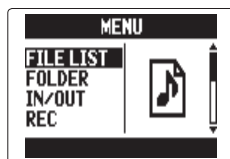
5. で「MARK LIST」を選択して、を押す

MULTI FILE モード

STEREO FILE モード

マークリストが表示されます。

HINT

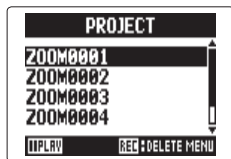
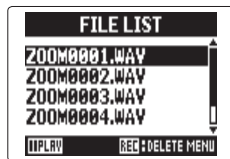
を押すと、マークの位置から再生を開始します。

プロジェクト／ファイル名を変更する

1. MENUを押す

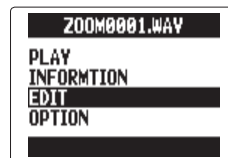
2. で「PROJECT/FILE LIST」を選択して、を押す

MULTI FILE モード

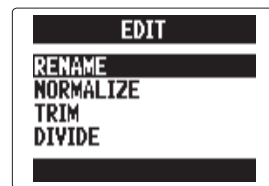
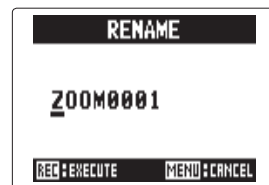
STEREO FILE モード

3. で名前を変更するプロジェクト／ファイルを選択して、を押す

MULTI FILE モード

STEREO FILE モード

4. で「EDIT」を選択して、を押す

MULTI FILE モード

STEREO FILE モード

5. で「RENAME」を選択して、を押す

6. 変更する

■変更時の操作

カーソル移動、文字の変更： の上下

変更する文字の選択、変更した文字の確定： を押す

NOTE

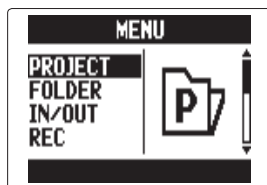
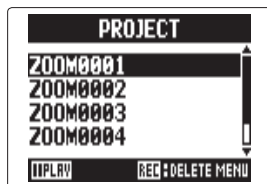
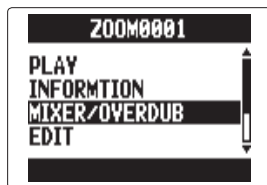
・プロジェクト／ファイル名に使用できる文字は以下のとおりです。
（スペース）!# $% &'()+,-0123456789;=@ABCDEFGHIJKLMNOPQRS
TUVWXYZ[]^_`abcdefghijklmnopqrstuvwxyz{ }~
・スペースだけのプロジェクト／ファイル名は使用できません。
・MULTI FILE モードではファイル名を変更できません。

7. (•) を押す

ミックスダウンする MULTI FILE モードのみ

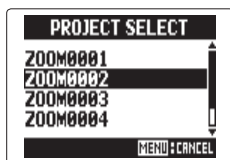
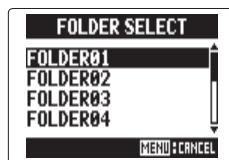
MULTI FILE モードで録音したプロジェクトを WAV ステレオファイルにミックスダウンします。

1. MENU を押す

2. で「PROJECT」を選択して、を押す

3. でプロジェクトを選択して、を押す

4. で「MIXER/OVERDUB」を選択して、を押す

5. で「MIX DOWN」を選択して、を押す

6. ミックスダウンするファイルの保存先を変更したいときはで「SAVE TO」を選択して、を押す

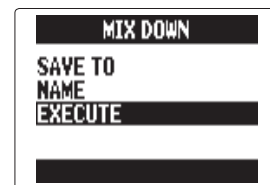
7. で保存先を選択して、を押す

8. で保存先のプロジェクト／フォルダを選択して、を押す

MULTI FILE モード

STEREO FILE モード

9. ファイル名を変更したいときはで「NAME」を選択して、を押す

HINT

ファイル名変更時の操作方法は、「プロジェクト／ファイル名を変更する」（→ P.52）の手順 6 を参照してください。

10. で「EXECUTE」を選択して、を押す

ミックスダウンが始まります。

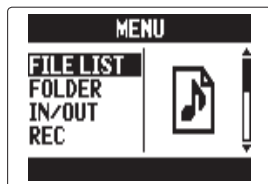
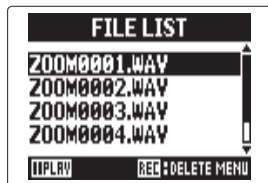
NOTE

- ミックスダウンには、MIXER/OVERDUB（→ P.48）で設定した音量、パン（→ P.49）の設定が反映されます。
- 作成されるファイルは、ミックスダウンを実行したプロジェクトと同じサンプリング周波数、同じビットレートになります。

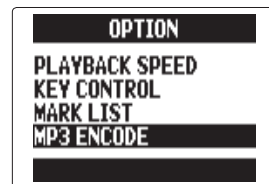
WAV ファイルを MP3 ファイルにエンコードする STEREO FILE モードのみ

STEREO FILE モードの WAV ファイルを MP3 ファイルに変換します。

1. を押す

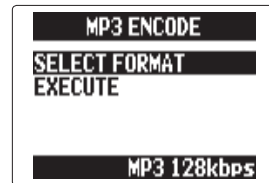
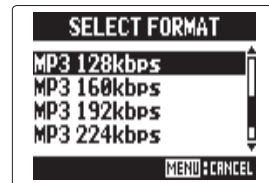
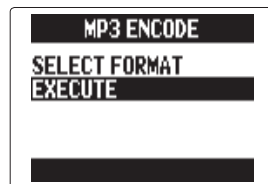
2. で「FILE LIST」を選択して、を押す

3. でファイルを選択して、を押す

NOTE
MS-RAW で録音されたファイルはエンコードできません。

4. で「OPTION」を選択して、を押す

5. で「MP3 ENCODE」を選択して、を押す

6. エンコードするときのフォーマットを変更したいときはで「SELECT FORMAT」を選択して、を押す

7. でフォーマットを選択して、を押す

8. で「EXECUTE」を選択して、を押す

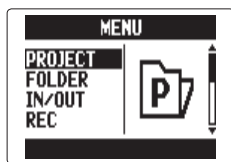
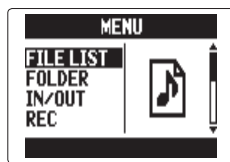
MP3 ENCODE
SELECT FORMAT
EXECUTE

エンコードが始まります。

NOTE

・SD カードの容量が足りない場合、手順 6 に戻ります。
・変換したファイルは同一フォルダ内に作成されます。
・変換後のファイル名が重複する場合、ファイル名を変更する画面が表示されます。名称を変更してから変換を行ってください。

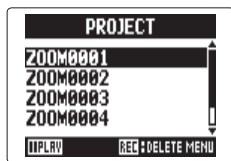
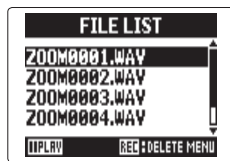
ノーマライズする WAV フォーマットのみ

WAV フォーマットで録音されたプロジェクト／ファイルの音量が小さかった場合に、ファイル全体のレベルを大きくすることができます。

1. MENU を押す

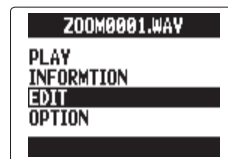
2. で「PROJECT/FILE LIST」を選択して、を押す

MULTI FILE モード

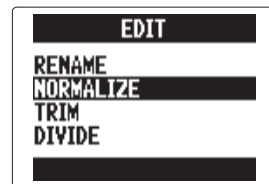
STEREO FILE モード

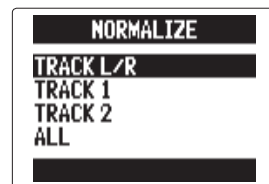
3. でノーマライズを行うプロジェクト／ファイルを選択して、を押す

MULTI FILE モード

STEREO FILE モード

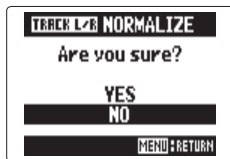
4. で「EDIT」を選択して、を押す

MULTI FILE モード

STEREO FILE モード

5. で「NORMALIZE」を選択して、を押す

STEREO FILE モードの場合は、手順 7 へ進みます。

6. でノーマライズを実行するトラックを選択して、を押す

NOTE

・録音ファイルのないトラックは選択できません。
・「ALL」を選択すると、選択可能なトラックすべてにノーマライズを実行します。このとき、全てのファイル内の最大レベルでノーマライズされます。
・追加録音などで複数の録音ファイルがある場合、現在トラックに選ばれているファイルがノーマライズされます。

7. で「YES」を選択して、を押す

MULTI FILE モード

STEREO FILE モード

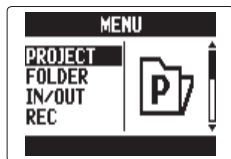
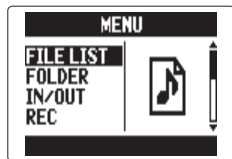
NOTE

ノーマライズはファイル内の最大レベルが 0dBFs になるように、全体のレベルを大きくします。

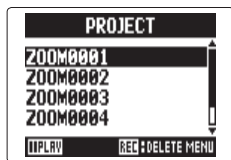
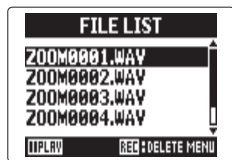
プロジェクト／ファイルを分割する

プロジェクト／ファイルを任意の位置で２つに分割できます。

1. を押す

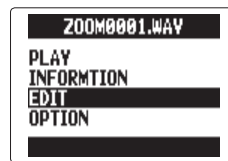
2. で「PROJECT/FILE LIST」を選択して、を押す

MULTI FILE モード

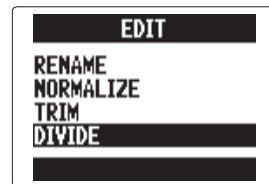
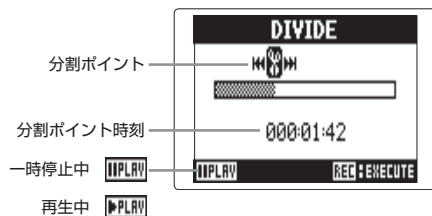
STEREO FILE モード

3. で分割するプロジェクト／ファイルを選択して、を押す

MULTI FILE モード

STEREO FILE モード

4. で「EDIT」を選択して、を押す

MULTI FILE モード

STEREO FILE モード

5. で「DIVIDE」を選択して、を押す

6. 分割位置を決める

■分割時の操作

ポイント移動：

再生／一時停止：を押す

分割位置の確定：を押す

7.

で「YES」を選択して、を押す

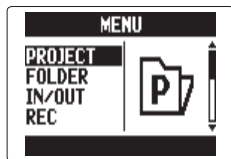
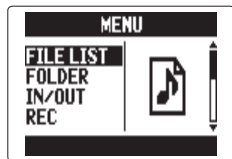
NOTE

・分割後のプロジェクト名は、分割位置より前のプロジェクトに A、後のプロジェクトに B の文字が、プロジェクト名の末尾に付加された名称になります。
・追加録音などで複数の録音ファイルがある場合、現在トラックに選択されているファイルが分割されます。選択されていないファイルは分割位置より前のプロジェクトに保存されます。

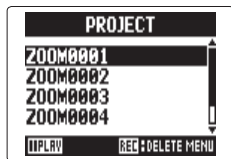
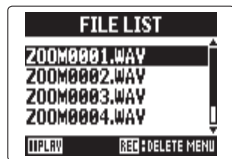
プロジェクト／ファイルの前後を削除する

録音の前後の不要な部分を削除（トリミング）することができます。残す部分の開始と終了の時間を指定します。

1. を押す

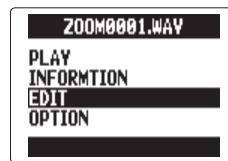
2. で「PROJECT/FILE LIST」を選択して、を押す

MULTI FILE モード

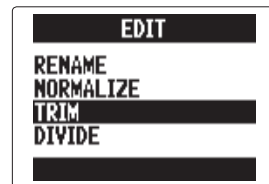
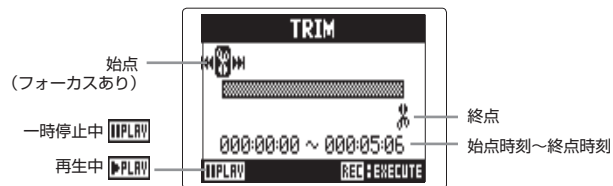
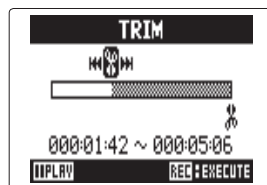
STEREO FILE モード

3. で前後を削除するプロジェクト／ファイルを選択して、を押す

MULTI FILE モード

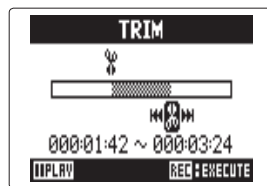
STEREO FILE モード

4. で「EDIT」を選択して、を押す

MULTI FILE モード

STEREO FILE モード

5. で「TRIM」を選択して、を押す

6. で始点のアイコンを選択する

7. で始点の位置を探す

HINT

を押して再生しながら探すこともできます。

8. で終点のアイコンを選択して、同様に終点も設定する

9. を押す

10. で「YES」を選択して、を押す

NOTE

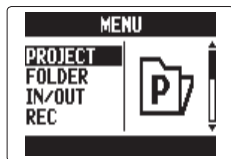
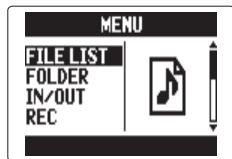
追加録音などで複数の録音ファイルがある場合、現在トラックに選択されているファイルがトリミングされます。

複数のファイルを削除する

不要なファイルを削除できます。

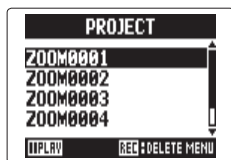
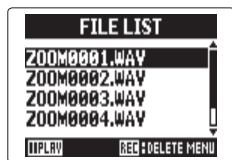
1. を押す

2. で「PROJECT/FILE LIST」を選択して、

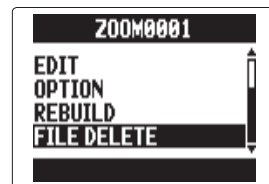
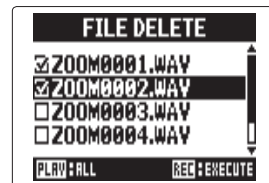
を押す

MULTI FILE モード

STEREO FILE モード

3. MULTI FILE モードの場合は、でプロジェクトを選択して、を押す

STEREO FILE モードの場合は、を押す

MULTI FILE モード

STEREO FILE モード

STEREO FILE モードの場合は手順 5 へ進みます。

4. で「FILE DELETE」を選択して、を押す

5. で削除するファイルを選択して、を押す

を押すとファイルの削除を中止します。

NOTE

を押すとファイルを全て選択／選択解除することができます。

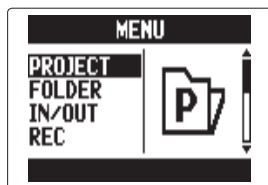
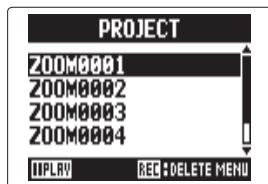
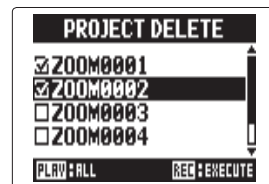
6. を押す

7. ↕で「YES」を選択して、
→を押す

複数のプロジェクトを削除する MULTI FILE モードのみ

選択されているフォルダ内の複数のプロジェクトをまとめて削除できます。

1. MENU を押す

2. で「PROJECT」を選択して、→ を押す

3. を押す

4. で削除するプロジェクトを選択して、→ を押す

MENU を押すとファイルの削除を中止します。

NOTE
を押すとプロジェクトを全て選択／選択解除することができます。

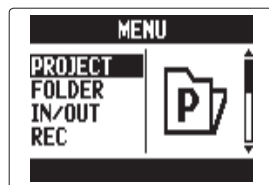
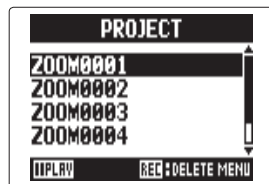
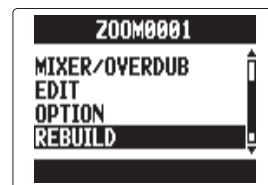
5. を押す

6. で「YES」を選択して、→ を押す

プロジェクトを再構築する MULTI FILE モードのみ

プロジェクトに必要なファイルがなかったり、壊れている場合は、再構築することができます。

1. を押す

2. で「PROJECT」を選択して、を押す

3. で再構築するプロジェクトを選択して、を押す

4. で「REBUILD」を選択して、を押す

5. で「YES」を選択して、を押す

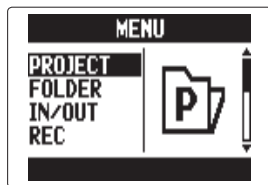
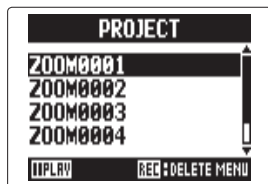
HINT

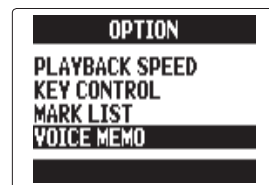
録音中に誤ってアダプターが抜けてしまったり、SD カードを抜いたり、パソコンでプロジェクトに必要な設定ファイルを削除してしまうと、プロジェクトが再生できなくなります。そのようなときは再構築を実行すると、プロジェクトを修復できる場合があります。

ボイスメモをつける MULTI FILE モードのみ

プロジェクトに音声によるメモをつけることができます。

1. MENU を押す

2. で「PROJECT」を選択して、を押す

3. でボイスメモを付けるプロジェクトを選択して、を押す

4. で「OPTION」を選択して、を押す

5. で「VOICE MEMO」を選択して、を押す

6. 録音する

録音の開始：を押す

録音の終了：、を押す

7. 再生する

再生の開始：(►/II)を押す

再生の終了：(■)を押す

HINT

・ボイスメモは(●)を押すたびに上書きされます。

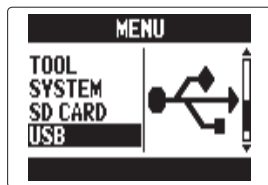
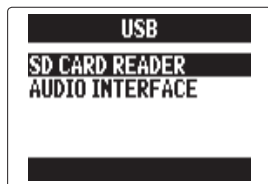
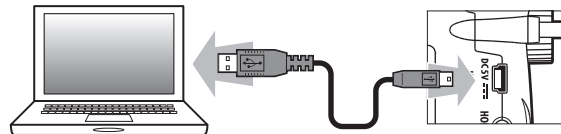
・ボイスメモの録音は、L/R 入力に接続されているステレオマイクから行います。インプット 1/2 の入力からは録音できません。

・ボイスメモのファイル名は「ZOOM0001_VM」のようになります。録音のフォーマットは 128kbps の MP3 になります。

パソコンとデータをやり取りする［カードリーダー］

パソコンと接続して、SD カード内のデータの確認やコピーができます。

1. MENU を押す

2. ↕ で「USB」を選択して、→ を押す

3. ↕ で「SD CARD READER」を選択して、→ を押す

4. **H5** とパソコンを USB ケーブルで接続する

NOTE

・USB バスパワーを使用したい場合は、**H5** の電源が OFF の状態でケーブルを接続し、電源を ON にしてください。

・対応している動作環境は以下のとおりです。

Windows の場合：Windows Vista 以降

Mac OS の場合：Mac OS X（10.6 以降）

5. 取り外したいときは、パソコン側で接続を解除する

Windows の場合：
“ハードウェアの安全な取り外し”で H5 を選択する
Mac OS の場合：
H5 のアイコンをゴミ箱にドラッグ & ドロップする

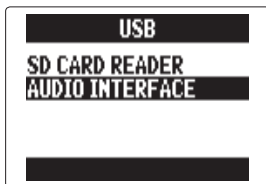
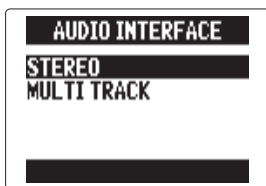
NOTE
・USB ケーブルを抜く前に、必ず解除操作を行ってください。

6. パソコンと H5 からケーブルを抜き、MENU を押す

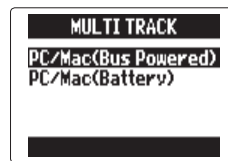
オーディオインターフェースとして使用する

H5 の入力信号をパソコンや iPad に直接入力したり、パソコンや iPad の再生信号を **H5** から出力することができます。

1. 「パソコンとデータをやり取りする［カードリーダー］」（P.70）の手順 1 〜 2 を行う

2. で「AUDIO INTERFACE」を選択して、を押す

3. で「STEREO」または「MULTI TRACK」を選択して、を押す

NOTE

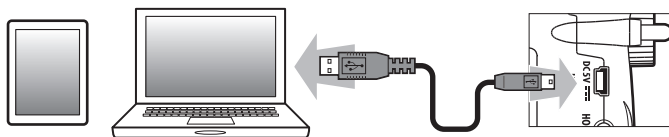
- 「STEREO」では 2 イン／ 2 アウト、「MULTI TRACK」では 4 イン／ 2 アウトになります。
- iPad の場合は「STEREO」を選択します。「MULTI TRACK」では使用できません。
- Windows の場合「MULTI TRACK」で使用するには、ドライバが必要です。ドライバは ZOOM の WEB サイト（www.zoom.co.jp）からダウンロードできます。

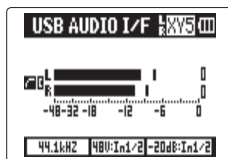
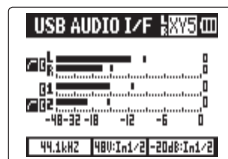
4. で接続先の機器を選択して、を押す

STEREO

MULTI TRACK

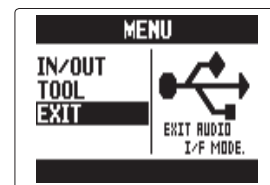
HINT

USB バスパワー供給能力の低いパソコンで使用する場合やファンタム電源を使用したい場合は「PC/Mac（Battery)」を選択します。

5. H5とパソコン、iPadをUSBケーブルで接続する

NOTE
iPadを接続する場合は、iPad Camera Connection Kitが必要です。

HINT
オーディオインターフェースの設定について（→ P.74）

STEREO

MULTI TRACK

6. 取り外したいときはを押す

7. で「EXIT」を選択して、を押す

8. で「YES」を選択して、を押す

9. パソコン、iPadとH5からケーブルを抜く

オーディオインターフェースの設定

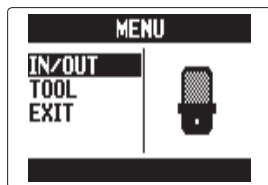
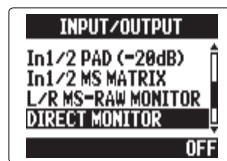
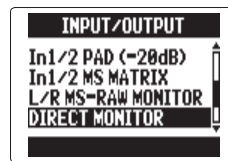
H5をオーディオインターフェースとして使用する場合は、次のような設定をすることができます。操作については各ページを参照してください。

入力設定	LO CUT（→ P.93）
	COMP/LIMITER（→ P.94）
	In1/2 PHANTOM（→ P.96）
	PLUGIN POWER（→ P.97）
	In1/2 PAD(-20dB)（→ P.98）
	1/2 MS STEREO MATRIX（→ P.86）
	L/R MS-RAW MONITOR（→ P.85）
	DIRECT MONITOR（→ P.74）
	MONITOR MIXER（→ P.75）※ MULTI TRACK のみ
	LOOP BACK（→ P.77）※ STEREO のみ
	In1/2 MONO MIX（→ P.88）※ STEREO のみ
	LINE OUT LEVEL（→ P.84）
ツール	TUNER（→ P.78）

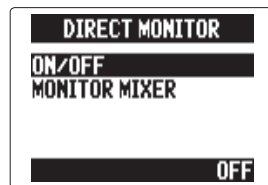
ダイレクトモニターを設定する

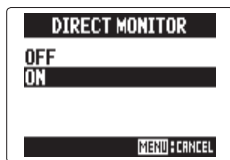
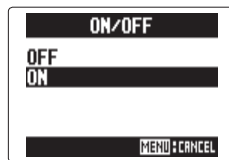
H5に入力された音声をパソコンや iPad を経由せずにH5から直接出力することができます。これにより遅延のないモニタリングが可能です。

1. MENU を押す

2. ↕ で「IN/OUT」を選択して、→ を押す

3. ↕ で「DIRECT MONITOR」を選択して、→ を押す

STEREO

MULTI TRACK

STEREO の場合は手順 5 へ進みます。

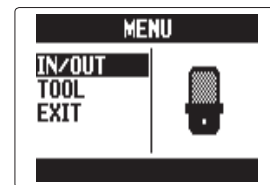
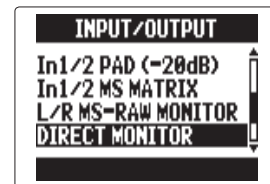
4. で「ON/OFF」を選択して、を押す

MULTI TRACK

5. で「ON」を選択して、を押す

STEREO

MULTI TRACK

モニター信号をミキシングする（MULTI TRACK のみ）

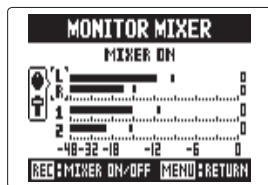
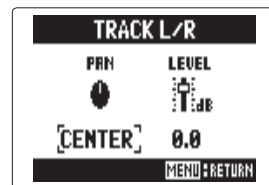
ダイレクトモニター中の各入力のミックスバランスを変更できます。ここで設定したバランスはパソコンや iPad に送られる入力信号には反映されません。

1. を押す

2. で「IN/OUT」を選択して、を押す

3. で「DIRECT MONITOR」を選択して、を押す

NEXT ›››

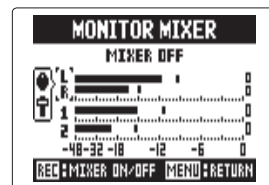
オーディオインターフェースの設定のつづき

4. で「MONITOR MIXER」を選択して、を押す

5. でトラックを選択して、を押す

6. でパラメーターを選択して、設定値を変更する

■変更時の操作

カーソル移動、設定値の変更：の上下

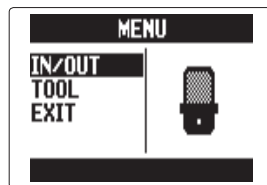
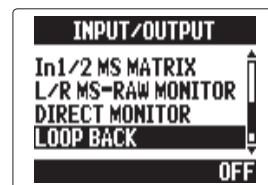
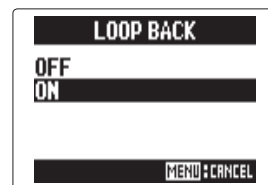
変更するパラメーターの選択：を押す

7. ミキサーを OFF にして試聴したい場合はを押す

押すたびに ON/OFF が切り替わります。

ループバックを設定する（STEREO のみ）

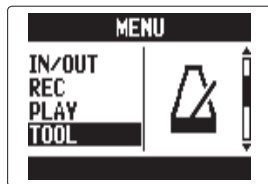
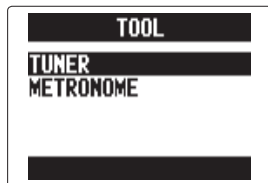
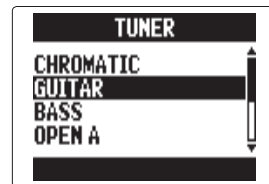
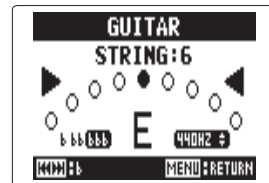
STEREO の場合、パソコン、iPad の再生音とH5への入力をミックスして、もう一度パソコン、iPad に送る（ループバック）ことができます。パソコンなどで再生した音楽にナレーションをつけて新たにパソコンのソフトウェアで録音したり、ストリーム配信することができます。

1. を押す

2. で「IN/OUT」を選択して、を押す

3. で「LOOP BACK」を選択して、を押す

4. で「ON」を選択して、を押す

チューニングする

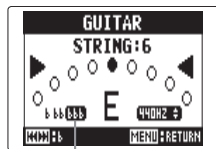
入力信号のチューニングが行えます。

1. MENUを押す

2. で「TOOL」を選択して、を押す

3. で「TUNER」を選択して、を押す

4. でチューナータイプを選択して、を押す

5. 基準ピッチを変更するには でピッチを選択する

HINT
435Hz ～ 445Hz の範囲で設定できます。

6. クロマチック以外のチューナータイプでフラットチューニングするには ⏮ ⏭ で選択する

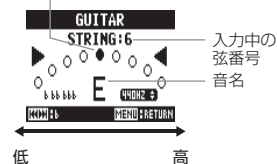
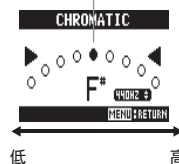
HINT

半音、1 音、1 音半下げてチューニングできます。

7. トラックキーを押し、入力するインプットを選択する

8. チューニングする

選べるチューナータイプは以下になります。

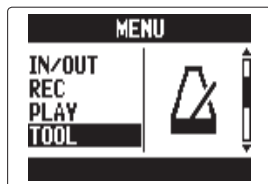
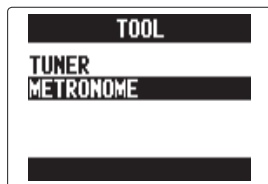
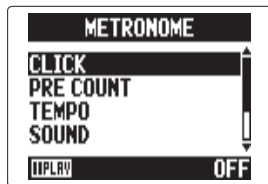
■クロマチックチューナーを使う
入力信号のピッチを自動検出して最寄りの音名とピッチのズレを表示します。

■ギター／ベース専用チューナーを使う
チューニングしたい弦番号を自動検出し、1 本ずつチューニングを行います。

チューナータイプ	弦番号／音名						
	1	2	3	4	5	6	7
GUITAR	E	B	G	D	A	E	B
BASS	G	D	A	E	B		
OPEN A	E	C#	A	E	A	E	
OPEN D	D	A	F#	D	A	D	
OPEN E	E	B	G#	E	B	E	
OPEN G	D	B	G	D	G	D	
DADGAD	D	A	G	D	A	D	

メトロノームを使用する

録音前のカウントダウンや録音中のガイドリズムとして使用できます。

1. MENUを押す

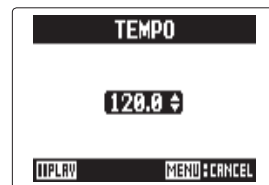
2. で「TOOL」を選択して、を押す

3. で「METRONOME」を選択して、を押す

4. で各メニューを選択して、を押す

■「CLICK」を選択

で音が鳴る条件を選択して、を押す

HINT	
CLICK には次の条件があります。	
OFF	：常にメトロノームは鳴らない
REC AND PLAY	：録音、再生時にメトロノームが鳴る
REC ONLY	：録音時のみにメトロノームが鳴る
PLAY ONLY	：再生時のみにメトロノームが鳴る

■「PRE COUNT」を選択（→ P.30）

■「TEMPO」を選択

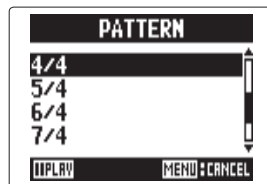
でメトロノームのスピードを選択して、を押す

HINT
TEMPO は 40.0 〜 250.0 の間で設定できます。

■「SOUND」を選択

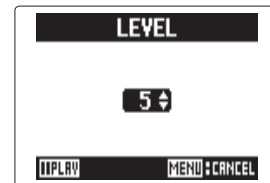
でメトロノームの音色を選択して、を押す

HINT
SOUND には次の音色があります。
BELL、CLICK、STICK、COWBELL、HI-Q

■「PATTERN」を選択

でメトロノームのパターンを選択して、を押す

HINT
PATTERN には次のパターンがあります。
0/4 ~ 8/4、6/8

■「LEVEL」を選択

でメトロノームの音量を選択して、を押す

HINT
LEVEL は 0 ~ 10 の間で設定できます。

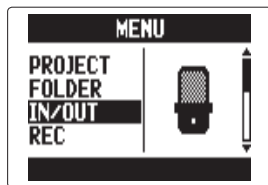
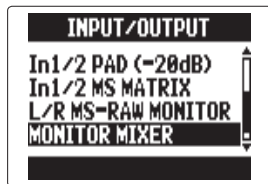
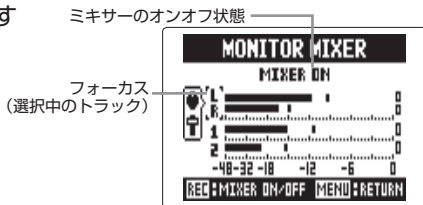
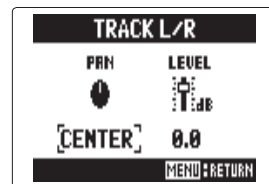
NOTE
- AUTO REC 機能との併用はできません。AUTO REC を ON にした場合、METRONOME は無効となります。
- PRE REC 機能との併用はできません。METRONOME を ON にした場合、PRE REC は無効となります。

HINT
メトロノームの各設定画面で を押すと、メトロノームを試聴することができます。

入力信号のモニターバランスを調節する MULTI FILE モードのみ

入力信号をモニターするときの各トラックの音量やパンを調節できます。

1. を押す

2. で「IN/OUT」を選択して、を押す

3. で「MONITOR MIXER」を選択して、を押す

4. でモニターバランスを調節するトラックを選択して、を押す

5. 各パラメーターの設定値を変更する

■変更時の操作

カーソル移動、設定値の変更：の上下

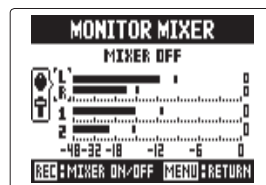
変更するパラメーターの選択：を押す

パラメーター	設定範囲	説明
PAN	L100 ～ CENTER ～ R100	左右の音のバランスを調節します。
LEVEL	ミュート、－ 48.0 ～＋12dB	音量を調節します。

NOTE

ここで調節した音量やパンはモニター信号にのみ有効で、録音データには反映されません。

6. ミキサーを OFF にして試聴したい場合は ◉ を押す

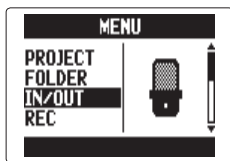
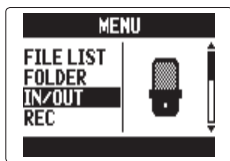
押すたびに ON/OFF が切り替わります。

NOTE

設定したミキシングは録音後プロジェクトごとに保存され、再生時に変更することもできます。（→ P.48）

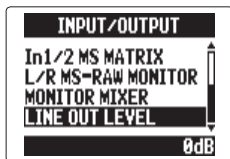
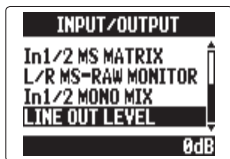
ライン出力レベルを下げる

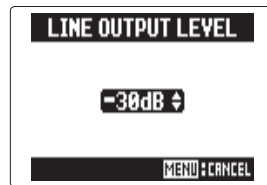
[LINE OUT] 端子の出力レベルを下げることができます。
[LINE OUT] 端子の出力信号を、一眼レフカメラの外部マイク入力端子など、入力ゲインの高い端子に接続するときに使用します。

1. MENU を押す

2. ↕ で「IN/OUT」を選択して、→ を押す

MULTI FILE モード

STEREO FILE モード

3. ↕ で「LINE OUT LEVEL」を選択して、→ を押す

MULTI FILE モード

STEREO FILE モード

4. ↕ で [LINE OUT] 端子の出力レベルを設定して、→ を押す

NOTE

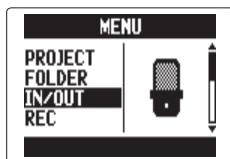
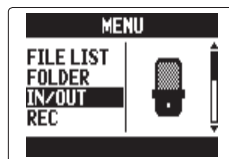
この設定は [PHONE] 端子から出力されるレベルには影響しません。

HINT

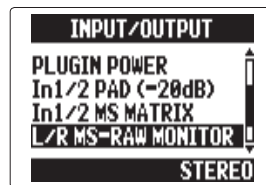
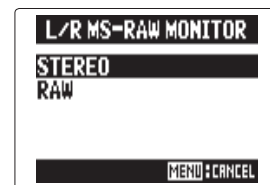
LINE OUT LEVEL はー 30 ~ 0dB の間で設定できます。

MS-RAW 信号をモニターする MS-RAW モードのみ

MS 方式のアタッチメントを使用した MS-RAW モードで録音中、Mid マイクの入力を Lch、Side マイクの入力を Rch からそのままモニターできます。

1. MENU を押す

2. で「IN/OUT」を選択して、を押す

MULTI FILE モード

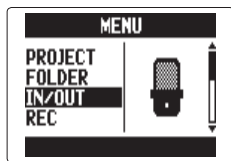
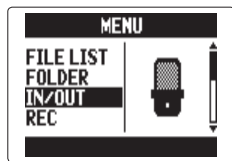
STEREO FILE モード

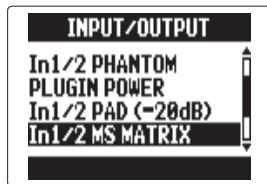
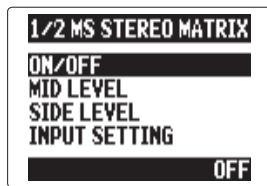
3. で「L/R MS-RAW MONITOR」を選択して、を押す

4. で「RAW」を選択して、を押す

NOTE
通常のステレオでモニターしたいときは、「STEREO」を選択してください。

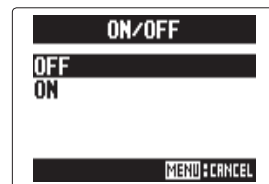
入力信号を MS 方式からステレオにエンコードする インプット 1/2 のみ

インプット 1/2 に入力した MS 方式のステレオマイクの信号を、通常のステレオ L/R 信号に変換します。

1. MENU を押す

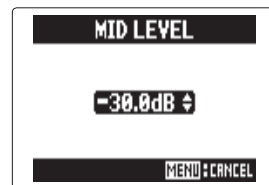
2. で「IN/OUT」を選択して、を押す

MULTI FILE モード

STEREO FILE モード

3. で「In1/2 MS MATRIX」を選択して、を押す

4. で各メニューを選択して、を押す

■「ON/OFF」を選択

で「ON」を選択して、を押す

NOTE

- ON に設定すると、トラック 1/2 が一つのステレオトラックとして再構成されます。
- MONO MIX 機能との併用はできません。MONO MIX を ONにした場合、MS STEREO MATRIXは無効となります。

■「MID LEVEL」を選択

でセンターの音を拾う単一指向性マイク（Mid）のレベルを設定して、を押す

HINT

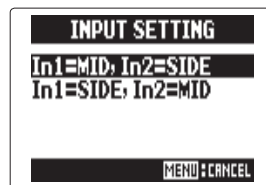
MID LEVEL はミュート、− 48.0 ～+ 12.0dB の間で設定できます。

■「SIDE LEVEL」を選択

で左右の音を拾う双指向性マイク（Side）のレベルを設定して、 を押す

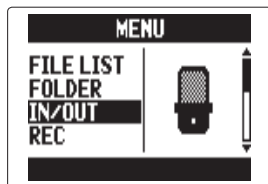
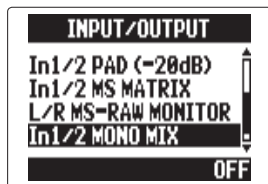
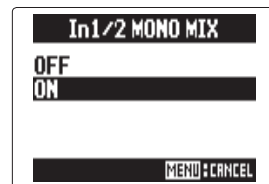
HINT
SIDE LEVEL はミュート、− 48.0 〜+ 12.0dB の間で設定できます

■「INPUT SETTING」を選択

で MID 入力と SIDE 入力をインプット 1/2 のどちらに割り当てるかを選択して、 を押す

入力信号をモノミックスする STEREO FILE モードのみ インプット 1/2 のみ

インプット 1/2 に入力した信号をミックスし、それぞれのチャンネルに同じ信号を送ります。

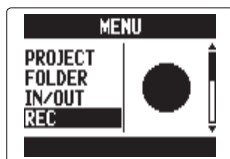
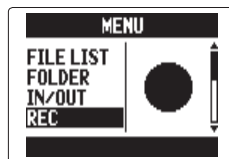
1. MENU を押す

2. ↕ で「IN/OUT」を選択して、→ を押す

3. ↕ で「In1/2 MONO MIX」を選択して、→ を押す

4. ↕ で「ON」を選択して、→ を押す

NOTE

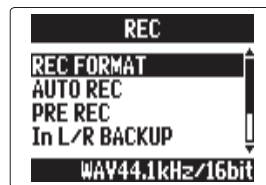
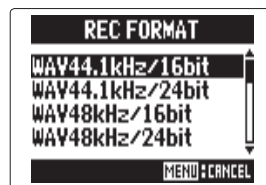
・MONO MIX を ON にして録音した後に作成されるファイル名には、「ZOOM0001_MN.WAV」のように「_MN」が付加されます。
・MS STEREO MATRIX 機能との併用はできません。MONO MIX を ON にした場合、MS STEREO MATRIX は無効となります。

録音フォーマットを選択する

音質やファイルサイズを考慮しながら、フォーマットを選択できます。

1. MENU を押す

2. で「REC」を選択して、を押す

MULTI FILE モード

STEREO FILE モード

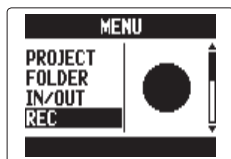
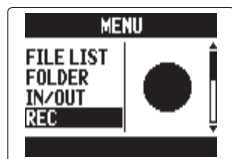
3. で「REC FORMAT」を選択して、を押す

4. で録音フォーマットを選択して、を押す

NOTE

- 音質重視の高音質な録音には WAV フォーマットが適しています。
- MP3 フォーマットは圧縮の際、音質が低下しますが、ファイルサイズも小さくなるため、SD カードの容量を節約して大量に保存したいときなどに便利です。
- STEREO FILE モードでバックアップ録音を使用した場合、選択できないフォーマットがあります。

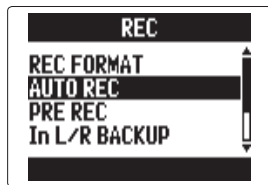
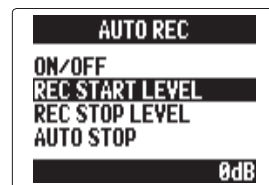
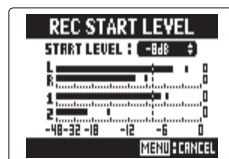
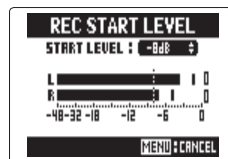
自動録音設定を変更する

自動録音を開始する条件（入力レベル）や、自動停止の設定を行えます。

自動録音開始レベルを設定する

1. MENU を押す

2. で「REC」を選択して、を押す

MULTI FILE モード

STEREO FILE モード

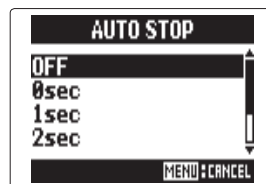
3. で「AUTO REC」を選択して、を押す

4. 録音開始条件を設定するには で「REC START LEVEL」を選択して、を押す

5. でスタートレベルを設定して、を押す

MULTI FILE モード

STEREO FILE モード

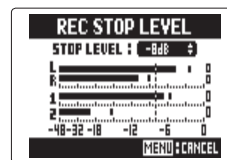
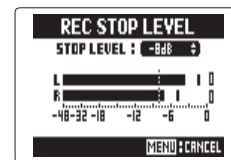
入力レベルが設定したレベルを上回ったときに、自動的に録音を開始します。

HINT
− 48 ～ 0dB の範囲で設定できます。

自動停止を設定する

1. 自動停止を設定するには、で「AUTO STOP」を選択して、を押す

2. で自動停止する時間を選択して、を押す

HINT
OFF または 0 ～ 5 秒の範囲で設定できます。

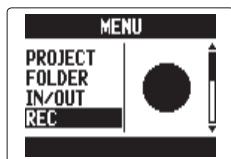
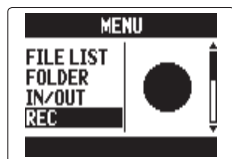
3. スタートレベルと同様にストップレベルを設定する

MULTI FILE モード

STEREO FILE モード

入力レベルが設定したレベルを下回り、手順 2 で設定した時間が経過したときに自動的に録音を終了します。

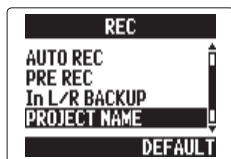
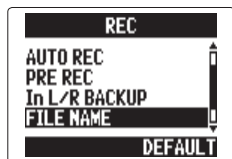
プロジェクト／ファイル名のつけ方を選択する

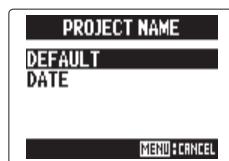
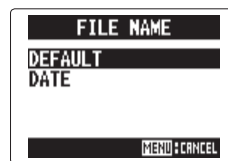
自動でつけられるプロジェクト／ファイル名の設定を変更できます。

1. MENU を押す

2. で「REC」を選択して、→ を押す

MULTI FILE モード

STEREO FILE モード

3. で「PROJECT NAME/FILE NAME」を選択して、を押す

MULTI FILE モード

STEREO FILE モード

4. でつけ方を選択して、→ を押す

MULTI FILE モード

STEREO FILE モード

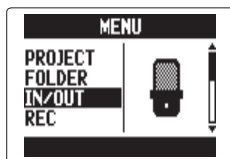
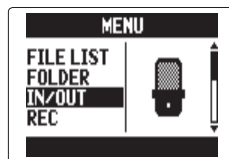
NOTE

- プロジェクト名は以下の規則でつけられます。
  DEFAULT：ZOOM0001 ～ ZOOM9999
  DATE：YYMMDD-HHMMSS　例）140331-123016
- ファイル名は以下の規則でつけられます。
  DEFAULT：ZOOM0001.WAV/MP3 ～ ZOOM9999.WAV/MP3
  DATE：YYMMDD-HHMMSS.WAV/MP3
  例）140331-123016.WAV/MP3
- 「DATE」では録音開始日時がつけられます。
- MULTI FILE モードでは、ファイル名のつけ方を変えることはできません。

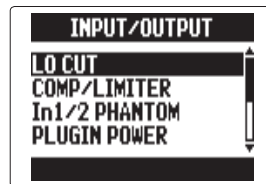
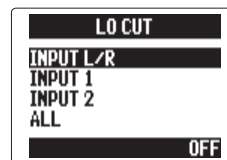
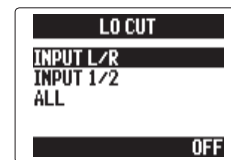
ノイズを軽減する［低域カット］

風雑音やボーカルのポップノイズなどをカットすることができます。

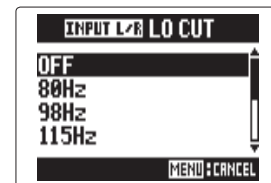
1. MENU を押す

2. ↕ で「IN/OUT」を選択して、→ を押す

MULTI FILE モード

STEREO FILE モード

3. ↕ で「LO CUT」を選択して、→ を押す

4. ↕ でカットするトラックを選択して、→ を押す

MULTI FILE モード

STEREO FILE モード

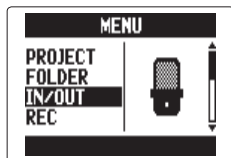
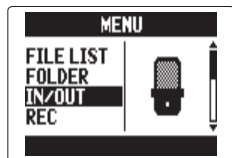
HINT
全インプットを一括で設定する場合は、ALL を選択します。

5. ↕ でカットする周波数を選択して、→ を押す

NOTE
LO CUT 設定はバックアップ録音データには反映されません。

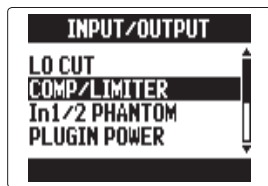
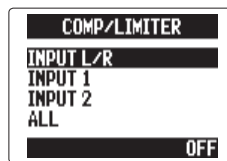
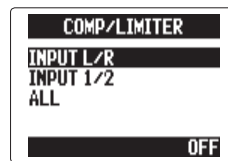
入力レベルを調節する［コンプ／リミッター］

低いレベルの入力信号は持ち上げ、高いレベルの信号は抑えてレベル調節できます。

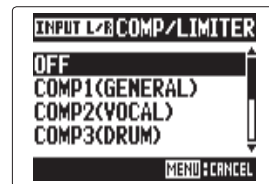
1. を押す

2. で「IN/OUT」を選択して、 を押す

MULTI FILE モード

STEREO FILE モード

3. で「COMP/LIMITER」を選択して、 を押す

4. で調節するインプットを選択して、 を押す

MULTI FILE モード

STEREO FILE モード

HINT
全インプットを一括で設定する場合は、ALL を選択します。

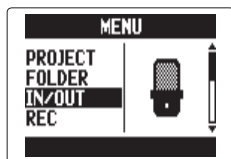
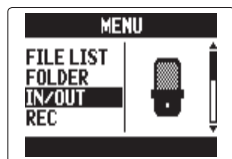
5. でコンプ／リミッターの種類を選択して、 を押す

NOTE
COMP/LIMITER 設定はバックアップ録音データには反映されません。

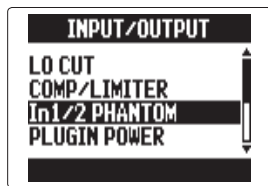
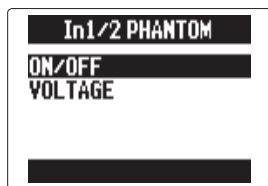
<table>
<tr><th>設定項目</th><th colspan="2">説明</th><th>スレッショルド [dB]</th><th>レシオ</th><th>出力レベル [dB]</th><th>アタック タイム [ms]</th><th>リリース タイム [ms]</th></tr>
<tr><td>OFF</td><td colspan="2">コンプレッサー、リミッターが OFF</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td></tr>
<tr><td>COMP (GENERAL)</td><td>標準的なコンプレッサー</td><td rowspan="3">コンプレッサーは、高いレベルの音を圧縮し、低いレベルの底上げを行います。</td><td>-48.7</td><td>9:1</td><td>+6.0</td><td>7.2</td><td>968</td></tr>
<tr><td>COMP (VOCAL)</td><td>ボーカル向きのコンプレッサー</td><td>-8.4</td><td>16:1</td><td>0</td><td>1.8</td><td>8.7</td></tr>
<tr><td>COMP (DRUM)</td><td>ドラム、パーカッション向きのコンプレッサー</td><td>-48.2</td><td>7:1</td><td>+3.6</td><td>12.3</td><td>947</td></tr>
<tr><td>LIMITER (GENERAL)</td><td>標準的なリミッター</td><td rowspan="3">リミッターは、入力信号が一定のレベルを越えた時に圧縮します。</td><td>-14.4</td><td>60:1</td><td>0</td><td>6.4</td><td>528</td></tr>
<tr><td>LIMITER (CONCERT)</td><td>ライブ向きのリミッター</td><td>-13.8</td><td>32:1</td><td>+1.2</td><td>1.9</td><td>8.5</td></tr>
<tr><td>LIMITER (STUDIO)</td><td>スタジオ録音向きのリミッター</td><td>-12.0</td><td>8:1</td><td>+1.2</td><td>6.5</td><td>423</td></tr>
</table>

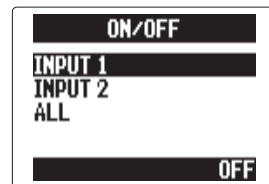
ファンタム電源の設定を変更する

インプット 1/2 はファンタム電源に対応しています。+12V、+24V、+48V の電源を供給できます。

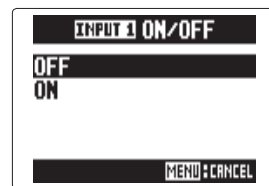
1. MENU を押す

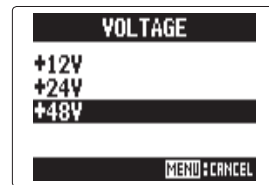
2. で「IN/OUT」を選択して、→ を押す

MULTI FILE モード

STEREO FILE モード

3. で「In1/2 PHANTOM」を選択して、→ を押す

4. で各メニューを選択して、→ を押す

■「ON/OFF」を選択

で設定するインプットを選択して、→ を押す

HINT

全インプットを一括で設定する場合は、ALL を選択します。

で「ON」を選択して、→ を押す

■「VOLTAGE」を選択

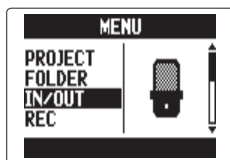
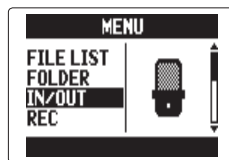
で設定する電圧を選択して、→ を押す

HINT

+ 48V 以外の電圧でも動作するコンデンサーマイクの場合、電圧を下げると**H5**の消費電力を抑えることができます。

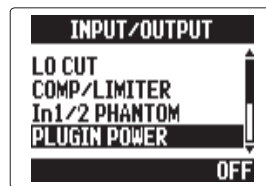
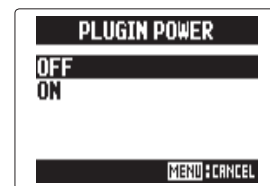
プラグインパワーの設定を変更する

プラグインパワーに対応しているマイクの場合は、XY マイクに搭載されている［MIC/LINE］入力端子に接続する前に次の設定を行います。

1. を押す

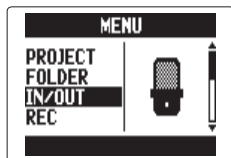
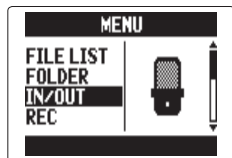
2. で「IN/OUT」を選択して、を押す

MULTI FILE モード

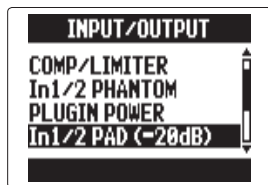
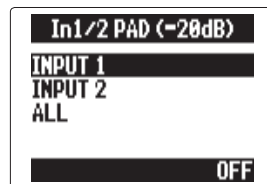
STEREO FILE モード

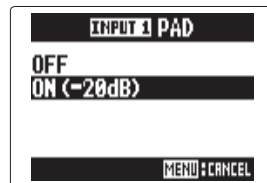
3. で「PLUGIN POWER」を選択して、を押す

4. で「ON」を選択して、を押す

入力信号のレベルを減衰させる インプット 1/2 のみ

出力基準レベルが +4dB のミキサー出力などには、入力信号のレベルを− 20dB することで対応できます。

1. MENU を押す

2. で「IN/OUT」を選択して、→ を押す

MULTI FILE モード

STEREO FILE モード

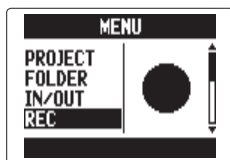
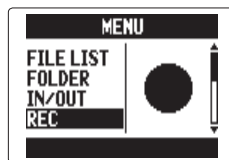
3. で「In1/2 PAD (− 20dB)」を選択して、→ を押す

4. で設定するインプットを選択して、→ を押す

HINT
全インプットを一括で設定する場合は、ALL を選択します。

5. で「ON」を選択して、→ を押す

カウンターの表示方式を設定する

録音時のカウンター表示方式を設定する

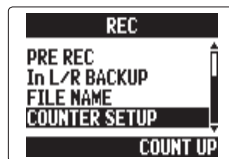
録音時のカウンターに録音経過時間を表示 (カウントアップ) するか、残り録音可能時間を表示 (カウントダウン) するかを切り替えることができます。

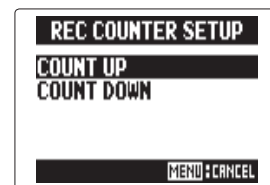
1. MENU を押す

2. で「REC」を選択して、を押す

MULTI FILE モード

STEREO FILE モード

3. で「COUNTER SETUP」を選択して、を押す

MULTI FILE モード

STEREO FILE モード

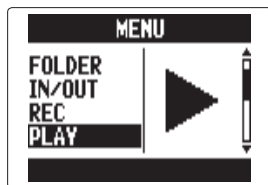
4. で表示方式を選択して、を押す

NEXT >>>

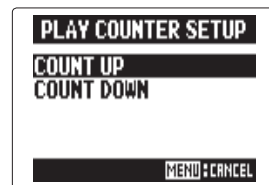
カウンターの表示方式を設定する のつづき

再生時のカウンター表示方式を設定する

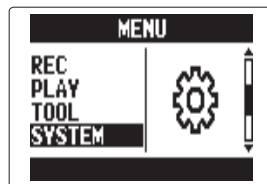
再生時のカウンターに再生経過時間を表示 (カウントアップ) するか、残り再生時間を表示 (カウントダウン) するかを切り替えることができます。

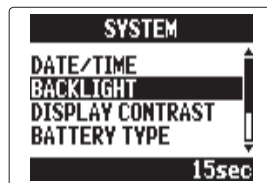
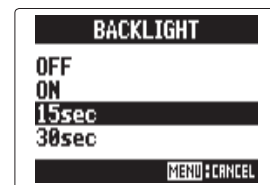
1. MENU を押す

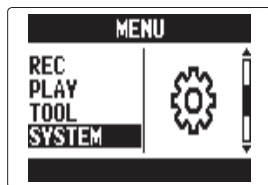
2. で「PLAY」を選択して、を押す

3. で「COUNTER SETUP」を選択して、を押す

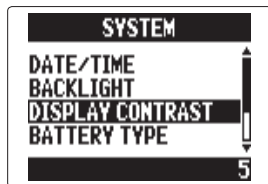
4. で表示方式を選択して、を押す

ディスプレイのバックライト設定を変更する

省電力のため、一定時間何も操作をしないとディスプレイのバックライトが消灯するように設定できます。

1. MENU を押す

2. で「SYSTEM」を選択して、を押す

3. で「BACKLIGHT」を選択して、を押す

4. で設定を選択して、を押す

ディスプレイのコントラストを調節する

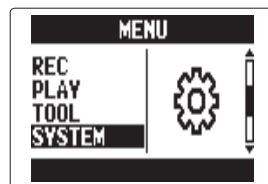
1. MENUを押す

2. ↕で「SYSTEM」を選択して、→を押す

3. ↕で「DISPLAY CONTRAST」を選択して、→を押す

4. ↕でコントラストを選択して、→を押す

HINT
1 ～ 10 の範囲で設定できます。

ファームウェアバージョンを確認する

H5 ファームウェアのバージョンを表示します。

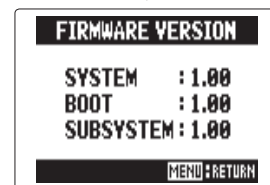
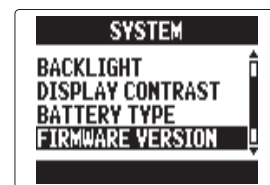
1. MENU を押す

2. で「SYSTEM」を選択して、を押す

3. で「FIRMWARE VERSION」を選択して、を押す

ファームウェアのバージョンが表示されます。

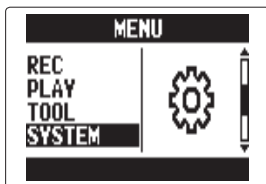
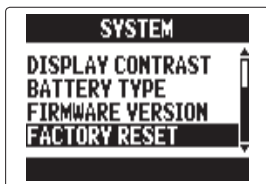
FIRMWARE VERSION

SYSTEM :1.00
BOOT :1.00
SUBSYSTEM:1.00

MENU:RETURN

設定を初期値に戻す

工場出荷時の設定に戻すことができます。

1. を押す

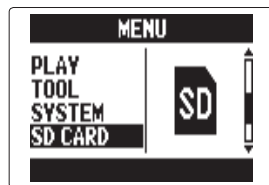
2. で「SYSTEM」を選択して、を押す

3. で「FACTORY RESET」を選択して、を押す

4. で「YES」を選択して、を押す

初期化が実行され、電源が自動的に OFF になります。

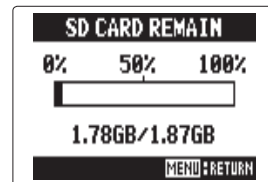
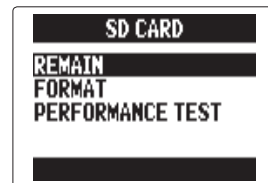
NOTE

入力レベルの設定はリセットされません。

SD カードの空き容量を確認する

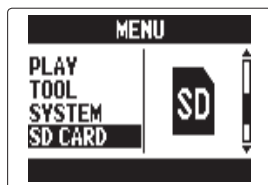
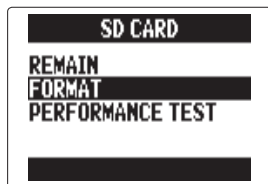
1. MENU を押す

2. で「SD CARD」を選択して、を押す

3. で「REMAIN」を選択して、を押す

空き容量が表示されます。

SD カードを初期化する

SD カードを H5 用に初期化します。

1. MENU を押す

2. で「SD CARD」を選択して、を押す

3. で「FORMAT」を選択して、を押す

4. で「YES」を選択して、を押す

NOTE

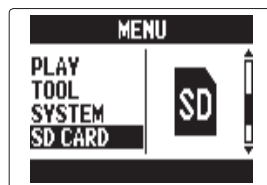
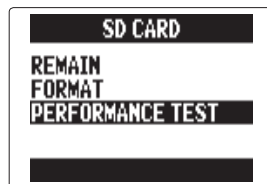
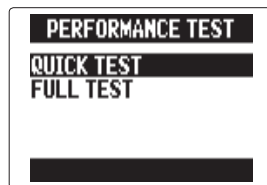
- 市販の SD カードや、他のパソコンで初期化された SD カードを使用する場合は、最初に H5 で初期化する必要があります。
- SD カードを初期化すると、それまでに保存されていたデータはすべて消去されますので、ご注意ください。

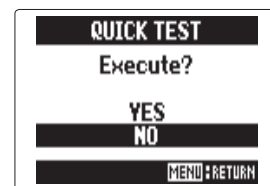
SD カードの性能をテストする

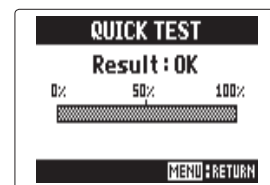
SD カードが H5 で使用可能かテストします。
短時間で行う簡易テストと、SD カードの全領域を検査するフルテストがあります。

簡易テストを行う

1. MENU を押す

2. で「SD CARD」を選択して、→ を押す

3. で「PERFORMANCE TEST」を選択して → を押す

4. で「QUICK TEST」を選択して → を押す

5. で「YES」を選択して → を押す

カードの性能テストが始まります。テストには 30 秒ほどかかります。

6. テストが終了する

判定結果が表示されます。

NEXT >>>

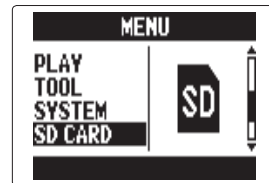
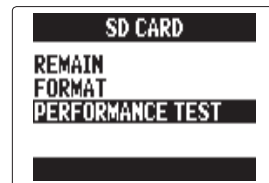
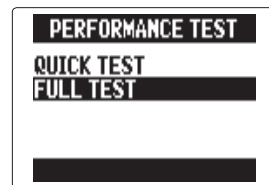
SD カードの性能をテストする のつづき

7. テストを中止するには MENU を押す

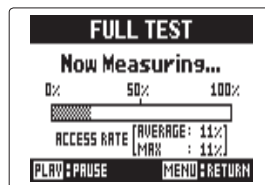
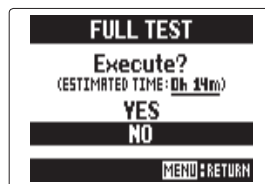
NOTE
性能テスト判定が OK になっても書き込み不良が起きない事を保障するものではありません。あくまで目安として考えてください。

フルテストを行う

1. MENU を押す

2. で「SD CARD」を選択して、→ を押す

3. で「PERFORMANCE TEST」を選択して → を押す

4. で「FULL TEST」を選択して → を押す

5. 必要時間が表示されるので、↑↓で「YES」を選択して→を押す

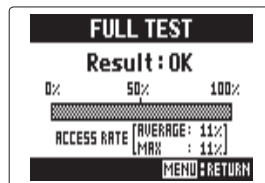
6. テストが終了する

判定結果が表示されます。
アクセスレートMAXが100%になるとNGとなります。

7. テストを中止するには MENU を押す

HINT

を押すとテストを一時中断・再開することができます。

NOTE

性能テスト判定が OK になっても書き込み不良が起きない事を保障するものではありません。あくまで目安として考えてください。

ファームウェアのバージョンアップデート

H5 のファームウェアを、最新のものにバージョンアップデートできます。

1. バージョンアップデート用ファイルを SD カードのルートディレクトリにコピーする

NOTE
最新のバージョンアップデート用ファイルは ZOOM の Web サイト（www.zoom.co.jp）からダウンロードできます。

2. SD カードを H5 にセットして ▶/II を押しながら、電源を ON にする

3. ↕ で「YES」を選択して、→ を押す

FIRMWARE UPDATE
Are you sure?
1.00 -> 1.10
YES
NO

NOTE
バージョンアップデート中に電源を切ったり、SD カードを抜かないでください。H5 が起動しなくなるおそれがあります。

4. バージョンアップデートが完了したら、電源を OFF にする

NOTE
電池残量が少ないと、バージョンアップデートできません。その場合は新しい電池に入れ替えるか、AC アダプターを使用してください。

古い H シリーズの SD カードを利用する

古い H シリーズで使用していた SD カードを読み込んで、その中のファイルを **H5** 用に移動することができます。

1. SD カードをセットして電源を ON にする

2. で「YES」を選択して、を押す

NOTE

- **H6** で作成したプロジェクトを移動することはできません。
- 4CH MODE のファイルを移動した場合には、ZOOMXXXX という名前のプロジェクトが作成されます。
- 移動ファイル名の先頭に、古い H シリーズの機種名が付加されます。
- 移動先に同じ名称のファイルがある場合は、名称変更を行わないと移動できません。

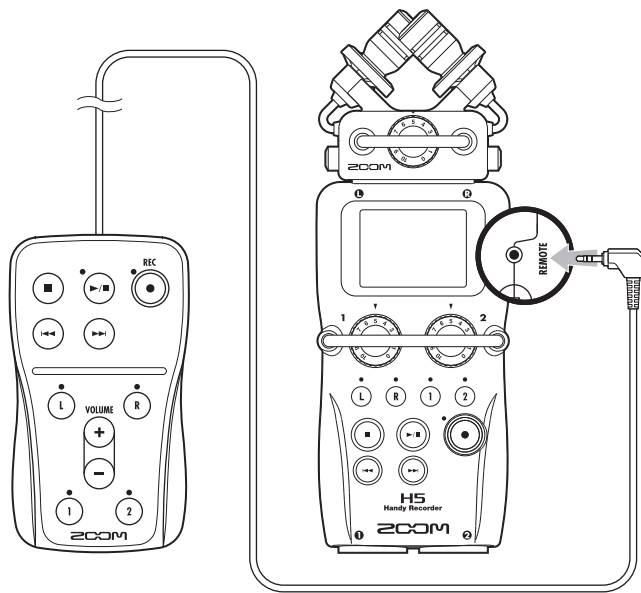
リモコンを使用する

リモコンを使うと、離れたところから **H5** を操作できます。

1. **H5** のリモコン端子にリモコンを接続する

リモコンの各キーは、**H5** 本体の各キーに対応しています。

HINT

H5 のホールド機能有効時でも、リモコンでの操作は可能です。

故障かな？と思われる前に

H5 の動作がおかしいと感じられたときは、まず次の項目を確認してください。

録音／再生のトラブル

◆音が出ない、もしくは非常に小さい

· モニターシステムの接続、およびモニターシステムの音量を確認してください。
· H5 の音量が下がっていないか確認してください（→ P.39）。

◆接続した機器、マイクの音が聞こえない、もしくは非常に小さい

· 付属の XY マイクを使用している場合は、マイクを向ける方向が適切かどうか確認してください。
· 入力レベルの設定を確認してください（→ P.22）。
· 入力端子に CD プレーヤーなどを接続しているときは、接続した機器の出力レベルを上げてみてください。
· 入力信号のモニター設定を確認してください（→ P.82）。
· プラグインパワーの設定を確認してください（→ P.97）。
· PAD 機能の設定を確認してください（→ P.98）。

◆ 録音できない

· トラックキーが赤く点灯していることを確認してください。
· SD カードに空容量があることを確認してください（→ P.105）。
· カードスロットに SD カードが正しくセットされていることを確認してください。
· “Card Protected” と表示されるときは、SD カードに書き換え保護がかけられています。ロックスイッチをスライドさせてライトプロテクトを解除してください。
· “Hold” と表示されるときは、キーホールド機能が有効になっています。キーホールド機能を無効にしてください（→ P.15）。

◆ 録音した音が聞こえない、もしくは非常に小さい

· トラック L/R、1/2 の音量レベルが下がっていないか確認してください（→ P.48）。
· 再生時にトラックキーが緑色に点灯していることを確認してください。

◆ ミックスダウンができない (MULTI FILE MODE)

· トラック L/R、1/2 の音量レベルが下がっていないか確認してください（→ P.48）。
· SD カードに空き容量があることを確認してください（→ P.105）。

その他のトラブル

◆ USB 端子をパソコンに接続しても認識されない

· 対応 OS が適切かどうかを確認してください（→ P.70）。
· H5 をパソコンに認識させるためには、H5 側で動作モードを選択する必要があります（→ P.70）。

仕　　様

区分	項目	内容	仕様
記録メディア		SD カード　16MB ～ 2GB　SDHC 規格対応カード 4GB ～ 32GB	
入力	L/R 入力	【XY マイク：XYH-5】	
		マイク	単一指向性マイク
		感度	-45dB/1Pa 1kHz
		入力ゲイン	−∞～ 52dB
		最大入力音圧	140dBspl
		MIC/LINE IN ステレオミニジャック	入力ゲイン：−∞～ 52dB
			入力インピーダンス：2k Ω以上
			プラグインパワー対応
		バックアップ入力	L/R 入力ゲインから -12dB
	INPUT1/2	コネクタ	XLR/TRS コンボジャック（XLR：2 番ホット　TRS：TIP ホット）
		入力ゲイン（PAD OFF）	−∞～ 55dB
		入力ゲイン（PAD ON）	−∞～ 35dB
		入力インピーダンス	1.8k Ω以上
		最大許容入力レベル	+22dBu（PAD ON）
		ファンタム電源	+12/+24/+48V　INPUT1/2 単位で ON/OFF
		入力換算雑音	-120dBu 以下
出力	出力端子	LINE OUT　ステレオミニジャック　（定格出力レベル -10dBm・出力負荷インピーダンス 10k Ω以上時）	
		PHONE OUT　ステレオミニジャック　(20mW +20mW・32 Ω負荷時）	
	内蔵スピーカー	400mW 8 Ωモノラルスピーカー	
記録フォーマット		<STEREO FILE MODE>	
		対応フォーマット（WAV）:	44.1/48/96kHz 16/24bit　ステレオ　BWF フォーマット対応
		対応フォーマット（MP3）:	48 ～ 320kbps サンプリング周波数 :44.1kHz
		最大同時録音トラック	4 トラック (L/R トラック＋バックアップ録音時)
		<MULTI FILE MODE>	
		対応フォーマット :	44.1/48kHz 16/24bit　モノ / ステレオ　BWF フォーマット対応
		最大同時録音トラック	6 トラック（L/R トラック + トラック 1/2 +バックアップ録音時）
表示		バックライト付き LCD（128 x 64 ドット）	

USB	＜マスストレージクラス動作＞
	クラス：　USB2.0 High Speed
	＜オーディオインターフェース動作：マルチトラックモード（※ PC にはドライバ必要。Mac OS は不要）＞
	クラス：　USB2.0 High Speed
	仕様：　サンプリングレート 44.1/48kHz ビットレート 16/24bit 4in2out
	＜オーディオインターフェース動作：ステレオモード（ドライバ不要）＞
	クラス：　USB2.0 Full Speed
	仕様：　サンプリングレート 44.1/48kHz ビットレート 16bit 2in2out
	※ iPad 用オーディオインターフェース動作サポート（ステレオモードのみ）
	※ USB バスパワー動作可能
連続録音中の電池持続時間の目安（アルカリ乾電池使用時）	＜STEREO FILE モード＞ XY マイク使用、44.1kHz/16bit(ステレオ x1)　約 15 時間 00 分 ＜MULTI FILE モード＞ XY マイク使用、インプット 1 、2 使用、48kHz/24bit(ステレオ x2)　約 7 時間 10 分 ※上記の値はあくまで目安です。 ※電池持続時間は当社試験法によるものです。使用条件により大きく変わります。
電源	単三電池 2 本動作
	AC アダプター：DC5V 1A AD-17 使用
	USB バスパワー
外形寸法	本体：66.8mm（W）x135.2mm（D）x42.1mm（H）176g
	XYH-5：65.5mm（W）x62.2mm（D）x41.0mm（H）94g

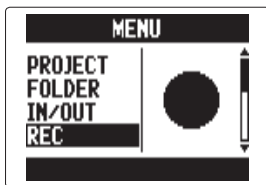
録音開始時や終了時にトーン信号を鳴らす［サウンドマーカー］

システムバージョン 2.0 より機能が追加されました。

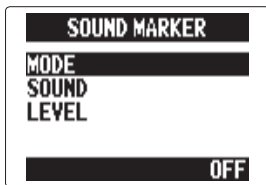
録音開始時や終了時に、出力端子からトーン信号（サウンドマーカー）を鳴らすことができます。
動画の音声を H5 で録音する場合、カメラ側の音声にトーン信号を入力しておくことで、動画との位置合わせが簡単になります。

1. MENU を押す

2. ↕ で「REC」を選択して、→ を押す

録音モードが MULTI FILE モードの場合

3. ↕ で「SOUND MARKER」を選択して、→ を押す

録音モードが MULTI FILE モードの場合

4. ↕ で各メニューを選択して、→ を押す

■「MODE」を選択

↕ でサウンドマーカーを鳴らす条件を選択して、→ を押す

NOTE

・追加録音機能やボイスメモ機能を使用しているときは、サウンドマーカーは鳴りません。

■「SOUND」を選択

↕ でサウンドマーカーの種類を選択して、→ を押す

■「LEVEL」を選択

↕ でサウンドマーカーの音量を設定して、→ を押す